

大学番号 015

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前伺い**

茨城大学大学院 人文社会科学研究科 人文科学専攻(M)

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

総務部総務課

職名・氏名

カチヨフホ サ ハセガワシンゴ  
課長補佐 長谷川慎吾

電話番号

029-228-8009

(夜間)

029-228-8035

e-mail

[iba-houki@ml.ibaraki.ad.jp](mailto:iba-houki@ml.ibaraki.ad.jp)

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

人文社会科学研究科

＜人文科学専攻(M)＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	26
4. 既設大学等の状況	27
5. 教員組織の状況	29
6. 附帯事項等に対する履行状況等	71
7. その他全般的事項	72

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人

## (2) 大学名

茨城大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒310-8512

茨城県水戸市文京2丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長			
学長	(オオタ ヒロユキ) 太田 寛行 (令和2年4月)		
研究科長	(ウチダ サトシ) 内田 聡 (平成30年4月)		
学科長等	(ニシヤマ クニオ) 西山 國雄 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文社会科学研究科 人文科学専攻 修士（学術）	文学関係 社会学・社会福祉学関係	年 2	人 17	年次 — 人	人 34		【基礎となる学部】 人文社会科学学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	17 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	0.65倍	一倍	
志願者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	19 ( — ) [ 4 ]	— ( — ) [ — ]			
受験者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	18 ( — ) [ 3 ]	— ( — ) [ — ]			
合格者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	11 ( — ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]			
B 入学者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	11 ( — ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]			
入学定員超過率 B/A									0.65				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	11 [ - ] ( 2 )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次			/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
4年次	/				- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
計			- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	11 [ - ] ( 2 )	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	11人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人文社会科学部 人文科学専攻(M)>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	アカデミックプレゼンテーション	1前	1								1
	アカデミックディスカッション	1前	1								1
	国際コミュニケーション基礎A	1前	1								1
	国際コミュニケーション基礎B	1前	1								1
	実践国際コミュニケーションA	1前	1								1
	実践国際コミュニケーションB	1前	1								1
	科学と倫理	1前	2								1
	学術情報リテラシー	1前	1								1
	環境情報センシング特論	1後	1								1
	原子科学と倫理	1前	1								7
	知的所有権特論	1後	1								2
	バイオテクノロジーと社会	1前	1								3
	持続社会システム論Ⅰ	1前	1								2
	持続社会システム論Ⅱ	1後	1								5
	地域サステナビリティ農学概論	1後	1								2
	地球環境システム論Ⅰ	1前	1								2
	地球環境システム論Ⅱ	1後	1								2
	人間システム基礎論Ⅰ	1後	1			1					4
	人間システム基礎論Ⅱ	1前	1								3
	人間システム基礎論Ⅲ	1後	1								8
	小計(21科目)	-	0	21	0	0	1	0	0	0	0
研究科共通科目	テクノロジーと人間社会Ⅰ	1前	1			1					4
	テクノロジーと人間社会Ⅱ	1後	1								1
	専門基礎科目	1前	1			23	9				39
	持続可能なコミュニティ・デザイン論	1・2前	1			1					
小計(4科目)	-	1	3	0	23	9	0	0	0	0	39
キャリア支援科目	英語講読Ⅰ	1・2前	2			1					
	英語講読Ⅱ	1・2後	2			1					
	英文修辞法Ⅰ	1・2前	2					1			
	英文修辞法Ⅱ	1・2後	2			1					
	英語音声表現演習Ⅰ	1・2前	2			1					
	英語音声表現演習Ⅱ	1・2後	2					1			
	日本語表現法	1・2前		2							2
	インターンシップ	1・2通	2			1					
	実践的キャリアデザイン論	1・2前	2								1
	高度情報処理	1・2前	2								1
小計(10科目)	-	0	18	2	3	0	1	0	0	0	4

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	アカデミックプレゼンテーション	1前	1								1
	アカデミックディスカッション	1前	1								1
	国際コミュニケーション基礎A	1前	1								1
	国際コミュニケーション基礎B	1前	1								1
	実践国際コミュニケーションA	1前	1								1
	実践国際コミュニケーションB	1前	1								1
	科学と倫理	1前	2								1
	学術情報リテラシー	1前	1								1
	環境情報センシング特論	1後	1								1
	原子科学と倫理	1前	1								7
	知的所有権特論	1後	1								1
	バイオテクノロジーと社会	1前	1								3
	持続社会システム論Ⅰ	1前	1								1
	持続社会システム論Ⅱ	1後	1								7
	地域サステナビリティ農学概論	1後	1								3
	地球環境システム論Ⅰ	1前	1								2
	地球環境システム論Ⅱ	1後	1								2
	人間システム基礎論Ⅰ	1後	1					1			3
	人間システム基礎論Ⅱ	1前	1								3
	人間システム基礎論Ⅲ	1後	1								8
	サステナビリティ学概論	1前	2								2
国内実践教育演習	1前	2					1			3	
国際実践教育演習	1後	2								2	
フアンリテーション能力開発演習Ⅰ	1前	1								1	
フアンリテーション能力開発演習Ⅱ	1前	1								1	
小計(25科目)	-	0	29	0	0	1	1	0	0	0	50
研究科共通科目	テクノロジーと人間社会Ⅰ	1前	1							3	5
	テクノロジーと人間社会Ⅱ	1後	1								1
	専門基礎科目	1前	1							22	39
	持続可能なコミュニティ・デザイン論	1・2前	1							1	
小計(4科目)	-	1	3	0	22	9	0	0	0	0	39
キャリア支援科目	英語講読Ⅰ	1・2前	2			1					
	英語講読Ⅱ(未開講)	1・2後	2			1					
	英文修辞法Ⅰ(未開講)	1・2前	2					1			
	英文修辞法Ⅱ	1・2後	2			1					
	英語音声表現演習Ⅰ	1・2前	2			1					
	英語音声表現演習Ⅱ(未開講)	1・2前	2					1			
	日本語表現法	1・2前		2							2
	インターンシップ	1・2通	2			1					
	実践的キャリアデザイン論	1・2前	2								1
	高度情報処理	1・2前	2								1
小計(10科目)	-	0	18	2	5	0	0	0	0	0	4







専攻科目	コア専門科目 (心理・人間科学コース)	行動機構論研究 I	1・2前	2		1															
		行動機構論研究 II	1・2後	2		1															
		行動機構論演習 I	1・2後	2		1															
		行動機構論演習 II	1・2前	2		1															
		認知行動論研究 I	1・2前	2			1														
		認知行動論研究 II	1・2後	2			1														
		認知行動論演習 I	1・2後	2			1														
		認知行動論演習 II	1・2前	2			1														
		家族心理論研究	1・2後	2		1															
		行動文化論研究 I	1・2前	2		1															
		行動文化論研究 II	1・2後	2		1															
		行動文化論演習 I	1・2後	2		1															
		行動文化論演習 II	1・2前	2		1															
		生涯発達論研究 I	1・2後	2			1														
		生涯発達論研究 II	1・2前	2			1														
		生涯発達論演習 I	1・2前	2			1														
		生涯発達論演習 II	1・2後	2			1														
		文化人類学研究 I	1・2後	2		1															
		文化人類学研究 II	1・2前	2		1															
		文化人類学演習 I	1・2前	2		1															
文化人類学演習 II	1・2後	2		1																	
比較文化論研究 I	1・2前	2			1																
比較文化論研究 II	1・2後	2			1																
比較文化論演習 I	1・2後	2			1																
比較文化論演習 II	1・2前	2			1																
専攻科目	コア専門科目 (公認心理師コース)	福祉分野に関する理論と支援の展開	1・2前	2		1															
		教育分野に関する理論と支援の展開	1・2前	2			1														
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1・2後	2																	
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2後	2		1															
		心理的アセスメントに関する理論と実践	1・2前	2			1	1													
		心理支援に関する理論と実践A	1・2前	2		1															
		心理支援に関する理論と実践B	1・2後		2			2													
		特別法・倫理・福祉教育に関する理論と実践	1・2後	2				1													
		心の健康教育に関する理論と実践	1・2前	2		1	1	2													
		心理実践実習A	1前	1		1	1	2													
		心理実践実習B	1後	1		1	1	2													
		心理実践実習C	2前	1		1	1	2													
		心理実践実習D	2後	1		1	1	2													
		心理実践実習E	2前	1		1	1	2													
		心理実践実習F	2後	1		1	1	2													
		保健医療分野に関する理論と支援の展開	1・2前	2				1													
		投映法特論	1・2後		2			1													
		箱庭療法特論	1・2前		2			1													
		小計(139科目)	-	0	266	6	23	9	3	0	0	2									
		専攻科目	コア専門科目 (心理・人間科学コース)	行動機構論研究 I (未開講)	1・2前	2															
行動機構論研究 II (未開講)	1・2前			2																	
行動機構論演習 I (未開講)	1・2後			2																	
行動機構論演習 II (未開講)	1・2後			2																	
認知行動論研究 I (未開講)	1・2前			2																	
認知行動論研究 II (未開講)	1・2後			2																	
認知行動論演習 I (未開講)	1・2後			2																	
認知行動論演習 II (未開講)	1・2前			2																	
家族心理論研究 (未開講)	1・2後			2																	
行動文化論研究 I (未開講)	1・2前			2																	
行動文化論研究 II (未開講)	1・2後			2																	
行動文化論演習 I (未開講)	1・2後			2																	
行動文化論演習 II (未開講)	1・2前			2																	
生涯発達論研究 I (未開講)	1・2後			2																	
生涯発達論研究 II (未開講)	1・2前			2																	
生涯発達論演習 I (未開講)	1・2前			2																	
生涯発達論演習 II (未開講)	1・2後			2																	
文化人類学研究 I (未開講)	1・2後			2																	
文化人類学研究 II (未開講)	1・2前			2																	
文化人類学演習 I (未開講)	1・2前			2																	
文化人類学演習 II (未開講)	1・2後	2																			
比較文化論研究 I (未開講)	1・2前	2																			
比較文化論研究 II (未開講)	1・2後	2																			
比較文化論演習 I (未開講)	1・2後	2																			
比較文化論演習 II (未開講)	1・2前	2																			
専攻科目	拡充専門科目 (文芸・思想コース)	考古学研究 I	1・2前	2						1											
		考古学研究 II	1・2後	2						1											
		日本考古学研究 I	1・2前	2						1											
		日本考古学研究 II	1・2後	2						1											
		中国考古文化研究 I	1・2前	2						1											
		中国考古文化研究 II	1・2後	2						1											
		中国考古学研究 I	1・2前	2						1											
		中国考古学研究 II	1・2後	2						1											
		日本文化史研究 I	1・2前	2						1											
		日本文化史研究 II	1・2後	2						1											
		日本古代中世史研究 I	1・2前	2						1											
		日本古代中世史研究 II	1・2後	2						1											
		日本政治史研究 I	1・2前	2						1											
		日本政治史研究 II	1・2後	2						1											
		日本近世史研究 I	1・2前	2						1											
		考古学研究 I (未開講)	1・2前	2																	
		考古学研究 II (未開講)	1・2後	2																	
		日本考古学研究 I (未開講)	1・2前	2																	
		日本考古学研究 II (未開講)	1・2後	2																	
		中国考古文化研究 I (未開講)	1・2前	2																	
中国考古文化研究 II (未開講)	1・2後	2																			
中国考古学研究 I (未開講)	1・2前	2																			
中国考古学研究 II (未開講)	1・2後	2																			
日本文化史研究 I (未開講)	1・2前	2																			
日本文化史研究 II (未開講)	1・2後	2																			
日本古代中世史研究 I (未開講)	1・2前	2																			
日本古代中世史研究 II (未開講)	1・2後	2																			
日本政治史研究 I (未開講)	1・2前	2																			
日本政治史研究 II (未開講)	1・2後	2																			
日本近世史研究 I (未開講)	1・2前	2																			
小計(139科目)	-	0	266	6	23	9	3	0	0	2											



専攻科目	拡充専門科目（文芸・思想コース）	ポピュラー文化研究	1・2後	2	1	ポピュラー文化研究	1・2後	2	1
		映像メディア研究	1・2前	2	1	映像メディア研究	1・2後	2	1
		メディア文化研究	1・2前	2	1	メディア文化研究(未開講)	1・2前	2	1
		メディア教育論研究	1・2前	2	1	メディア教育論研究	1・2前	2	1
		電子メディア論研究	1・2後	2	1	電子メディア論研究	1・2後	2	1
		近代日本メディア史研究	1・2後	2	1	近代日本メディア史研究	1・2後	2	1
		映像広告論研究	1・2前	2	1	映像広告論研究	1・2前	2	1
		学習デザイン論研究	1・2前	2	1	学習デザイン論研究	1・2前	2	1
		情報デザイン研究	1・2後	2	1	情報デザイン研究	1・2後	2	1
		コミュニケーションデータ分析研究	1・2後	2	1	コミュニケーションデータ分析研究	1・2後	2	1
		コミュニケーション社会学研究	1・2前	2	1	コミュニケーション社会学研究(未開講)	1・2前	2	1
		多文化コミュニケーション論研究	1・2後	2	1	多文化コミュニケーション論研究	1・2後	2	1
		多文化関係学研究	1・2前	2	1	多文化関係学研究	1・2前	2	1
		グローバル化と地域開発研究	1・2後	2	1	グローバル化と地域開発研究	1・2前	2	1
		持続可能な開発とSDGs研究	1・2前	2	1	持続可能な開発とSDGs研究	1・2後	2	1
		社会行動論研究Ⅰ	1・2後	2	1	社会行動論研究Ⅰ(未開講)	1・2後	2	1
		社会行動論研究Ⅱ	1・2前	2	1	社会行動論研究Ⅱ	1・2前	2	1
		社会行動論演習Ⅰ	1・2前	2	1	社会行動論演習Ⅰ(未開講)	1・2前	2	1
		社会行動論演習Ⅱ	1・2後	2	1	社会行動論演習Ⅱ	1・2後	2	1
		スポーツ社会研究Ⅰ	1・2前	2	1	スポーツ社会研究Ⅰ	1・2前	2	1
		スポーツ社会研究Ⅱ	1・2後	2	1	スポーツ社会研究Ⅱ	1・2後	2	1
		国際政治学研究Ⅰ	1・2前	2	1	国際政治学研究Ⅰ	1・2前	2	1
		国際政治学研究Ⅱ	1・2後	2	1	国際政治学研究Ⅱ	1・2後	2	1
		地方政治論研究Ⅰ	1・2後	2	1	地方政治論研究Ⅰ	1・2前	2	1
		地方政治論研究Ⅱ	1・2前	2	1	地方政治論研究Ⅱ	1・2後	2	1
		社会地理学研究Ⅰ	1・2前	2	1	社会地理学研究Ⅰ	1・2後	2	1
		社会地理学研究Ⅱ	1・2後	2	1	社会地理学研究Ⅱ	1・2後	2	1
		経済地理学研究Ⅰ	1・2後	2	1	経済地理学研究Ⅰ(未開講)	1・2後	2	1
		経済地理学研究Ⅱ	1・2前	2	1	経済地理学研究Ⅱ(未開講)	1・2前	2	1
		地域社会論研究Ⅰ	1・2前	2	1	地域社会論研究Ⅰ(未開講)	1・2前	2	1
		地域社会論研究Ⅱ	1・2後	2	1	地域社会論研究Ⅱ(未開講)	1・2後	2	1
		環境社会学研究Ⅰ	1・2前	2	1	環境社会学研究Ⅰ	1・2後	2	1
		環境社会学研究Ⅱ	1・2後	2	1	環境社会学研究Ⅱ(未開講)	1・2前	2	1
		社会事業史研究Ⅰ	1・2前	2	1	社会事業史研究Ⅰ(未開講)	1・2前	2	1
		社会事業史研究Ⅱ	1・2後	2	1	社会事業史研究Ⅱ	1・2後	2	1
		社会調査法研究	1・2前	2	1	社会調査法研究	1・2前	2	1
		社会意識論研究	1・2後	2	1	社会意識論研究(未開講)	1・2前	2	1
		地誌学研究Ⅰ	1・2後	2	1	地誌学研究Ⅰ	1・2前	2	1
		地誌学研究Ⅱ	1・2前	2	1	地誌学研究Ⅱ	1・2後	2	1
		家族社会学研究Ⅰ	1・2前	2	1	家族社会学研究Ⅰ(未開講)	1・2前	2	1
		家族社会学研究Ⅱ	1・2後	2	1	家族社会学研究Ⅱ(未開講)	1・2後	2	1
		環境政策・経済学研究Ⅰ	1・2前	2	1	環境政策・経済学研究Ⅰ(未開講)	1・2前	2	1
		環境政策・経済学研究Ⅱ	1・2後	2	1	環境政策・経済学研究Ⅱ(未開講)	1・2後	2	1
		憲法研究Ⅰ	1・2後	2	1	憲法研究Ⅰ	1・2前	2	1
		憲法研究Ⅱ	1・2前	2	1	憲法研究Ⅱ	1・2後	2	1
		民法研究AⅠ	1・2前	2	1	民法研究AⅠ	1・2前	2	1
		民法研究AⅡ	1・2後	2	1	民法研究AⅡ	1・2後	2	1
		民法研究BⅠ	1・2前	2	1	民法研究BⅠ(未開講)	1・2前	2	1
民法研究BⅡ	1・2後	2	1	民法研究BⅡ	1・2後	2	1		
刑法研究Ⅰ	1・2前	2	1	刑法研究Ⅰ(未開講)	1・2前	2	1		
刑法研究Ⅱ	1・2後	2	1	刑法研究Ⅱ	1・2後	2	1		
商法・経済法研究Ⅰ	1・2前	2	1	商法・経済法研究Ⅰ(未開講)	1・2前	2	1		
商法・経済法研究Ⅱ	1・2後	2	1	商法・経済法研究Ⅱ	1・2後	2	1		
労働法研究Ⅰ	1・2前	2	1	労働法研究Ⅰ	1・2前	2	1		
労働法研究Ⅱ	1・2後	2	1	労働法研究Ⅱ	1・2後	2	1		
社会保障法研究Ⅰ	1・2後	2	1	社会保障法研究Ⅰ	1・2前	2	1		
社会保障法研究Ⅱ	1・2前	2	1	社会保障法研究Ⅱ	1・2後	2	1		
行政法研究Ⅰ	1・2後	2	1	行政法研究Ⅰ	1・2後	2	1		
行政法研究Ⅱ	1・2前	2	1	行政法研究Ⅱ	1・2前	2	1		
比較法研究Ⅰ	1・2後	2	1	比較法研究Ⅰ(未開講)	1・2前	2	1		















専攻科目	拡充専門科目 (心理・人間科学コース)	箱庭療法特論	1・2前	2	1	箱庭療法特論	1・2通	2	1
		現代ジャーナリズム研究	1・2前	2	1	現代ジャーナリズム研究(未開講)	1・2前	2	1
		マスコミ研究	1・2前	2	1	マスコミ研究(未開講)	1・2前	2	1
		ポピュラー文化研究	1・2後	2	1	ポピュラー文化研究	1・2後	2	1
		映像メディア研究	1・2前	2	1	映像メディア研究	1・2後	2	1
		メディア文化研究	1・2前	2	1	メディア文化研究(未開講)	1・2前	2	1
		メディア教育論研究	1・2前	2	1	メディア教育論研究	1・2前	2	1
		電子メディア論研究	1・2後	2	1	電子メディア論研究	1・2後	2	1
		近代日本メディア史研究	1・2後	2	1	近代日本メディア史研究	1・2後	2	1
		映像広告論研究	1・2前	2	1	映像広告論研究	1・2前	2	1
		学習デザイン論研究	1・2前	2	1	学習デザイン論研究	1・2前	2	1
		情報デザイン研究	1・2後	2	1	情報デザイン研究	1・2後	2	1
		コミュニケーションデータ分析研究	1・2後	2	1	コミュニケーションデータ分析研究	1・2後	2	1
		コミュニケーション社会学研究	1・2前	2	1	コミュニケーション社会学研究(未開講)	1・2前	2	1
		多文化コミュニケーション論研究	1・2後	2	1	多文化コミュニケーション論研究	1・2後	2	1
		多文化関係学研究	1・2前	2	1	多文化関係学研究	1・2前	2	1
		グローバル化と地域開発研究	1・2後	2	1	グローバル化と地域開発研究	1・2前	2	1
		持続可能な開発とSDGs研究	1・2前	2	1	持続可能な開発とSDGs研究	1・2後	2	1
		社会行動論研究 I	1・2後	2	1	社会行動論研究 I(未開講)	1・2後	2	1
		社会行動論研究 II	1・2前	2	1	社会行動論研究 II	1・2前	2	1
		社会行動論演習 I	1・2前	2	1	社会行動論演習 I(未開講)	1・2前	2	1
		社会行動論演習 II	1・2後	2	1	社会行動論演習 II	1・2後	2	1
		スポーツ社会研究 I	1・2前	2	1	スポーツ社会研究 I	1・2前	2	1
		スポーツ社会研究 II	1・2後	2	1	スポーツ社会研究 II	1・2後	2	1
		国際政治学研究 I	1・2前	2	1	国際政治学研究 I	1・2前	2	1
		国際政治学研究 II	1・2後	2	1	国際政治学研究 II	1・2後	2	1
		地方政治論研究 I	1・2後	2	1	地方政治論研究 I	1・2前	2	1
		地方政治論研究 II	1・2前	2	1	地方政治論研究 II	1・2後	2	1
		社会地理学研究 I	1・2前	2	1	社会地理学研究 I	1・2後	2	1
		社会地理学研究 II	1・2後	2	1	社会地理学研究 II	1・2後	2	1
		経済地理学研究 I	1・2後	2	1	経済地理学研究 I(未開講)	1・2後	2	1
		経済地理学研究 II	1・2前	2	1	経済地理学研究 II(未開講)	1・2前	2	1
		地域社会論研究 I	1・2前	2	1	地域社会論研究 I(未開講)	1・2前	2	1
		地域社会論研究 II	1・2後	2	1	地域社会論研究 II(未開講)	1・2後	2	1
		環境社会学研究 I	1・2前	2	1	環境社会学研究 I	1・2後	2	1
		環境社会学研究 II	1・2後	2	1	環境社会学研究 II(未開講)	1・2前	2	1
		社会事業史研究 I	1・2前	2	1	社会事業史研究 I(未開講)	1・2前	2	1
		社会事業史研究 II	1・2後	2	1	社会事業史研究 II	1・2後	2	1
		社会調査法研究	1・2前	2	1	社会調査法研究	1・2前	2	1
		社会意識論研究	1・2後	2	1	社会意識論研究(未開講)	1・2前	2	1
地誌学研究 I	1・2後	2	1	地誌学研究 I	1・2前	2	1		
地誌学研究 II	1・2前	2	1	地誌学研究 II	1・2後	2	1		
家族社会学研究 I	1・2前	2	1	家族社会学研究 I(未開講)	1・2前	2	1		
家族社会学研究 II	1・2後	2	1	家族社会学研究 II(未開講)	1・2後	2	1		
環境政策・経済学研究 I	1・2前	2	1	環境政策・経済学研究 I(未開講)	1・2前	2	1		
環境政策・経済学研究 II	1・2後	2	1	環境政策・経済学研究 II(未開講)	1・2後	2	1		
憲法研究 I	1・2後	2	1	憲法研究 I	1・2前	2	1		
憲法研究 II	1・2前	2	1	憲法研究 II	1・2後	2	1		
民法研究A I	1・2前	2	1	民法研究A I	1・2前	2	1		
民法研究A II	1・2後	2	1	民法研究A II	1・2後	2	1		
民法研究B I	1・2前	2	1	民法研究B I(未開講)	1・2前	2	1		
民法研究B II	1・2後	2	1	民法研究B II	1・2後	2	1		
刑法研究 I	1・2前	2	1	刑法研究 I(未開講)	1・2前	2	1		
刑法研究 II	1・2後	2	1	刑法研究 II	1・2後	2	1		
商法・経済法研究 I	1・2前	2	1	商法・経済法研究 I(未開講)	1・2前	2	1		
商法・経済法研究 II	1・2後	2	1	商法・経済法研究 II	1・2後	2	1		
労働法研究 I	1・2前	2	1	労働法研究 I	1・2前	2	1		
労働法研究 II	1・2後	2	1	労働法研究 II	1・2後	2	1		
社会保障法研究 I	1・2後	2	1	社会保障法研究 I	1・2前	2	1		
社会保障法研究 II	1・2前	2	1	社会保障法研究 II	1・2後	2	1		



専攻科目	拡充専門科目（公認心理師コース）	日本古典文学演習Ⅱ	1・2後	2	1	日本古典文学演習Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1
		日本近代文学研究Ⅰ	1・2後	2	1	日本近代文学研究Ⅰ (未開講)	1・2後	2	1
		日本近代文学研究Ⅱ	1・2前	2	1	日本近代文学研究Ⅱ (未開講)	1・2前	2	1
		日本近代文学演習Ⅰ	1・2前	2	1	日本近代文学演習Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		日本近代文学演習Ⅱ	1・2後	2	1	日本近代文学演習Ⅱ	1・2後	2	1
		中国思想史研究Ⅰ	1・2前	2	1	中国思想史研究Ⅰ	1・2前	2	1
		中国思想史研究Ⅱ	1・2後	2	1	中国思想史研究Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1
		中国思想史演習Ⅰ	1・2前	2	1	中国思想史演習Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		中国思想史演習Ⅱ	1・2後	2	1	中国思想史演習Ⅱ	1・2後	2	1
		中国近現代文学研究Ⅰ	1・2後	2	1	中国近現代文学研究Ⅰ	1・2後	2	1
		中国近現代文学研究Ⅱ	1・2前	2	1	中国近現代文学研究Ⅱ (未開講)	1・2前	2	1
		中国近現代文学演習Ⅰ	1・2前	2	1	中国近現代文学演習Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		中国近現代文学演習Ⅱ	1・2後	2	1	中国近現代文学演習Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1
		フランス文学研究Ⅰ	1・2前	2	1	フランス文学研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		フランス文学研究Ⅱ	1・2後	2	1	フランス文学研究Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1
		フランス文学演習Ⅰ	1・2後	2	1	フランス文学演習Ⅰ	1・2後	2	1
		フランス文学演習Ⅱ	1・2前	2	1	フランス文学演習Ⅱ (未開講)	1・2前	2	1
		美術史学研究Ⅰ	1・2前	2	1	美術史学研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		美術史学研究Ⅱ	1・2後	2	1	美術史学研究Ⅱ (未開講)	1・2前	2	1
		フランス美術史研究Ⅰ	1・2後	2	1	フランス美術史研究Ⅰ (未開講)	1・2後	2	1
		フランス美術史研究Ⅱ	1・2前	2	1	フランス美術史研究Ⅱ	1・2後	2	1
		英語学研究Ⅰ	1・2前	2	1	英語学研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		英語学研究Ⅱ	1・2後	2	1	英語学研究Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1
		英語学演習Ⅰ	1・2前	2	1	英語学演習Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		英語学演習Ⅱ	1・2後	2	1	英語学演習Ⅱ	1・2後	2	1
		イギリス文学研究Ⅰ	1・2前	2	1	イギリス文学研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		イギリス文学研究Ⅱ	1・2後	2	1	イギリス文学研究Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1
		イギリス文学演習Ⅰ	1・2前	2	1	イギリス文学演習Ⅰ	1・2後	2	1
		イギリス文学演習Ⅱ	1・2後	2	1	イギリス文学演習Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1
		アメリカ文学研究Ⅰ	1・2前	2	1	アメリカ文学研究Ⅰ	1・2後	2	1
		アメリカ文学研究Ⅱ	1・2後	2	1	アメリカ文学研究Ⅱ	1・2後	2	1
		アメリカ文学演習Ⅰ	1・2前	2	1	アメリカ文学演習Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		アメリカ文学演習Ⅱ	1・2後	2	1	アメリカ文学演習Ⅱ	1・2後	2	1
		応用言語学研究Ⅰ	1・2前	2	1	応用言語学研究Ⅰ	1・2前	2	1
		応用言語学研究Ⅱ	1・2後	2	1	応用言語学研究Ⅱ	1・2後	2	1
		応用言語学演習Ⅰ	1・2前	2	1	応用言語学演習Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		応用言語学演習Ⅱ	1・2後	2	1	応用言語学演習Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1
		言語文法論研究Ⅰ	1・2前	2	1	言語文法論研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1
		言語文法論研究Ⅱ	1・2後	2	1	言語文法論研究Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1
		言語文法論演習Ⅰ	1・2前	2	1	言語文法論演習Ⅰ	1・2前	2	1
言語文法論演習Ⅱ	1・2後	2	1	言語文法論演習Ⅱ	1・2後	2	1		
社会言語学研究Ⅰ	1・2前	2	1	社会言語学研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1		
社会言語学研究Ⅱ	1・2後	2	1	社会言語学研究Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1		
社会言語学演習Ⅰ	1・2前	2	1	社会言語学演習Ⅰ	1・2後	2	1		
社会言語学演習Ⅱ	1・2後	2	1	社会言語学演習Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1		
考古学研究Ⅰ	1・2前	2	1	考古学研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1		
考古学研究Ⅱ	1・2後	2	1	考古学研究Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1		
日本考古学研究Ⅰ	1・2前	2	1	日本考古学研究Ⅰ	1・2前	2	1		
日本考古学研究Ⅱ	1・2後	2	1	日本考古学研究Ⅱ	1・2後	2	1		
中国考古文化研究Ⅰ	1・2前	2	1	中国考古文化研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1		
中国考古文化研究Ⅱ	1・2後	2	1	中国考古文化研究Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1		
中国考古学研究Ⅰ	1・2前	2	1	中国考古学研究Ⅰ	1・2前	2	1		
中国考古学研究Ⅱ	1・2後	2	1	中国考古学研究Ⅱ	1・2後	2	1		
日本文化史研究Ⅰ	1・2前	2	1	日本文化史研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1		
日本文化史研究Ⅱ	1・2後	2	1	日本文化史研究Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1		
日本古代中世史研究Ⅰ	1・2前	2	1	日本古代中世史研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1		
日本古代中世史研究Ⅱ	1・2後	2	1	日本古代中世史研究Ⅱ	1・2後	2	1		
日本政治史研究Ⅰ	1・2前	2	1	日本政治史研究Ⅰ	1・2前	2	1		
日本政治史研究Ⅱ	1・2後	2	1	日本政治史研究Ⅱ (未開講)	1・2後	2	1		
日本近世史研究Ⅰ	1・2前	2	1	日本近世史研究Ⅰ (未開講)	1・2前	2	1		

専攻科目 拡充専門科目（公認心理師コース）	日本近世史研究Ⅱ	1・2後	2	1	日本近世史研究Ⅱ	1・2後	2	1
	日本社会史研究Ⅰ	1・2前	2	1	日本社会史研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	日本社会史研究Ⅱ	1・2後	2	1	日本社会史研究Ⅱ	1・2前	2	1
	日本近現代史研究Ⅰ	1・2前	2	1	日本近現代史研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	日本近現代史研究Ⅱ	1・2後	2	1	日本近現代史研究Ⅱ	1・2後	2	1
	ユーラシア歴史文化研究Ⅰ	1・2前	2	1	ユーラシア歴史文化研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	ユーラシア歴史文化研究Ⅱ	1・2後	2	1	ユーラシア歴史文化研究Ⅱ	1・2後	2	1
	ユーラシア歴史社会研究Ⅰ	1・2前	2	1	ユーラシア歴史社会研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	ユーラシア歴史社会研究Ⅱ	1・2後	2	1	ユーラシア歴史社会研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1
	アジア歴史文化研究Ⅰ	1・2前	2	1	アジア歴史文化研究Ⅰ	1・2前	2	1
	アジア歴史文化研究Ⅱ	1・2後	2	1	アジア歴史文化研究Ⅱ	1・2後	2	1
	アジア歴史社会研究Ⅰ	1・2前	2	1	アジア歴史社会研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	アジア歴史社会研究Ⅱ	1・2後	2	1	アジア歴史社会研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1
	ヨーロッパ社会史研究Ⅰ	1・2前	2	1	ヨーロッパ社会史研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	ヨーロッパ社会史研究Ⅱ	1・2後	2	1	ヨーロッパ社会史研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1
	ヨーロッパ政治史研究Ⅰ	1・2前	2	1	ヨーロッパ政治史研究Ⅰ	1・2前	2	1
	ヨーロッパ政治史研究Ⅱ	1・2後	2	1	ヨーロッパ政治史研究Ⅱ	1・2後	2	1
	ヨーロッパ歴史文化研究Ⅰ	1・2前	2	1	ヨーロッパ歴史文化研究Ⅰ	1・2前	2	1
	ヨーロッパ歴史文化研究Ⅱ	1・2後	2	1	ヨーロッパ歴史文化研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1
	ヨーロッパ近現代史研究Ⅰ	1・2前	2	1	ヨーロッパ近現代史研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	ヨーロッパ近現代史研究Ⅱ	1・2後	2	1	ヨーロッパ近現代史研究Ⅱ	1・2後	2	1
	行動機構論研究Ⅰ	1・2前	2	1	行動機構論研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	行動機構論研究Ⅱ	1・2後	2	1	行動機構論研究Ⅱ（未開講）	1・2前	2	1
	行動機構論演習Ⅰ	1・2後	2	1	行動機構論演習Ⅰ（未開講）	1・2後	2	1
	行動機構論演習Ⅱ	1・2前	2	1	行動機構論演習Ⅱ	1・2後	2	1
	認知行動論研究Ⅰ	1・2前	2	1	認知行動論研究Ⅰ	1・2前	2	1
	認知行動論研究Ⅱ	1・2後	2	1	認知行動論研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1
	認知行動論演習Ⅰ	1・2後	2	1	認知行動論演習Ⅰ	1・2後	2	1
	認知行動論演習Ⅱ	1・2前	2	1	認知行動論演習Ⅱ（未開講）	1・2前	2	1
	家族心理論研究	1・2後	2	1	家族心理論研究	1・2後	2	1
	行動文化論研究Ⅰ	1・2前	2	1	行動文化論研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	行動文化論研究Ⅱ	1・2後	2	1	行動文化論研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1
	行動文化論演習Ⅰ	1・2後	2	1	行動文化論演習Ⅰ	1・2後	2	1
	行動文化論演習Ⅱ	1・2前	2	1	行動文化論演習Ⅱ（未開講）	1・2前	2	1
	生涯発達論研究Ⅰ	1・2後	2	1	生涯発達論研究Ⅰ（未開講）	1・2後	2	1
	生涯発達論研究Ⅱ	1・2前	2	1	生涯発達論研究Ⅱ	1・2前	2	1
	生涯発達論演習Ⅰ	1・2前	2	1	生涯発達論演習Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	生涯発達論演習Ⅱ	1・2後	2	1	生涯発達論演習Ⅱ	1・2後	2	1
	文化人類学研究Ⅰ	1・2後	2	1	文化人類学研究Ⅰ（未開講）	1・2後	2	1
	文化人類学研究Ⅱ	1・2前	2	1	文化人類学研究Ⅱ（未開講）	1・2前	2	1
	文化人類学演習Ⅰ	1・2前	2	1	文化人類学演習Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
	文化人類学演習Ⅱ	1・2後	2	1	文化人類学演習Ⅱ	1・2後	2	1
	比較文化論研究Ⅰ	1・2前	2	1	比較文化論研究Ⅰ	1・2前	2	1
	比較文化論研究Ⅱ	1・2後	2	1	比較文化論研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1
	比較文化論演習Ⅰ	1・2後	2	1	比較文化論演習Ⅰ	1・2後	2	1
	比較文化論演習Ⅱ	1・2前	2	1	比較文化論演習Ⅱ（未開講）	1・2前	2	1
	現代ジャーナリズム研究	1・2前	2	1	現代ジャーナリズム研究（未開講）	1・2前	2	1
マスコミ研究	1・2前	2	1	マスコミ研究（未開講）	1・2前	2	1	
ポピュラー文化研究	1・2後	2	1	ポピュラー文化研究	1・2後	2	1	
映像メディア研究	1・2前	2	1	映像メディア研究	1・2後	2	1	
メディア文化研究	1・2前	2	1	メディア文化研究（未開講）	1・2前	2	1	
メディア教育論研究	1・2前	2	1	メディア教育論研究	1・2前	2	1	
電子メディア論研究	1・2後	2	1	電子メディア論研究	1・2後	2	1	
近代日本メディア史研究	1・2後	2	1	近代日本メディア史研究	1・2後	2	1	
映像広告論研究	1・2前	2	1	映像広告論研究	1・2前	2	1	
学習デザイン論研究	1・2前	2	1	学習デザイン論研究	1・2前	2	1	
情報デザイン研究	1・2後	2	1	情報デザイン研究	1・2後	2	1	
コミュニケーションデータ分析研究	1・2後	2	1	コミュニケーションデータ分析研究	1・2後	2	1	
コミュニケーション社会学研究	1・2前	2	1	コミュニケーション社会学研究（未開講）	1・2前	2	1	
多文化コミュニケーション論研究	1・2後	2	1	多文化コミュニケーション論研究	1・2後	2	1	

専攻科目	拡充専門科目（公認心理師コース）	多文化関係学研究	1・2前	2	1	多文化関係学研究	1・2前	2	1
		グローバル化と地域開発研究	1・2後	2	1	グローバル化と地域開発研究	1・2前	2	1
		持続可能な開発とSDGs研究	1・2前	2	1	持続可能な開発とSDGs研究	1・2後	2	1
		社会行動論研究Ⅰ	1・2後	2	1	社会行動論研究Ⅰ（未開講）	1・2後	2	1
		社会行動論研究Ⅱ	1・2前	2	1	社会行動論研究Ⅱ	1・2前	2	1
		社会行動論演習Ⅰ	1・2前	2	1	社会行動論演習Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
		社会行動論演習Ⅱ	1・2後	2	1	社会行動論演習Ⅱ	1・2後	2	1
		スポーツ社会研究Ⅰ	1・2前	2	1	スポーツ社会研究Ⅰ	1・2前	2	1
		スポーツ社会研究Ⅱ	1・2後	2	1	スポーツ社会研究Ⅱ	1・2後	2	1
		国際政治学研究Ⅰ	1・2前	2	1	国際政治学研究Ⅰ	1・2前	2	1
		国際政治学研究Ⅱ	1・2後	2	1	国際政治学研究Ⅱ	1・2後	2	1
		地方政治論研究Ⅰ	1・2後	2	1	地方政治論研究Ⅰ	1・2前	2	1
		地方政治論研究Ⅱ	1・2前	2	1	地方政治論研究Ⅱ	1・2後	2	1
		社会地理学研究Ⅰ	1・2前	2	1	社会地理学研究Ⅰ	1・2後	2	1
		社会地理学研究Ⅱ	1・2後	2	1	社会地理学研究Ⅱ	1・2後	2	1
		経済地理学研究Ⅰ	1・2後	2	1	経済地理学研究Ⅰ（未開講）	1・2後	2	1
		経済地理学研究Ⅱ	1・2前	2	1	経済地理学研究Ⅱ（未開講）	1・2前	2	1
		地域社会論研究Ⅰ	1・2前	2	1	地域社会論研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
		地域社会論研究Ⅱ	1・2後	2	1	地域社会論研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1
		環境社会学研究Ⅰ	1・2前	2	1	環境社会学研究Ⅰ	1・2後	2	1
		環境社会学研究Ⅱ	1・2後	2	1	環境社会学研究Ⅱ（未開講）	1・2前	2	1
		社会事業史研究Ⅰ	1・2前	2	1	社会事業史研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
		社会事業史研究Ⅱ	1・2後	2	1	社会事業史研究Ⅱ	1・2後	2	1
		社会調査法研究	1・2前	2	1	社会調査法研究	1・2前	2	1
		社会意識論研究	1・2後	2	1	社会意識論研究（未開講）	1・2前	2	1
		地誌学研究Ⅰ	1・2後	2	1	地誌学研究Ⅰ	1・2前	2	1
		地誌学研究Ⅱ	1・2前	2	1	地誌学研究Ⅱ	1・2後	2	1
		家族社会学研究Ⅰ	1・2前	2	1	家族社会学研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
		家族社会学研究Ⅱ	1・2後	2	1	家族社会学研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1
		環境政策・経済学研究Ⅰ	1・2前	2	1	環境政策・経済学研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
		環境政策・経済学研究Ⅱ	1・2後	2	1	環境政策・経済学研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1
		憲法研究Ⅰ	1・2後	2	1	憲法研究Ⅰ	1・2前	2	1
		憲法研究Ⅱ	1・2前	2	1	憲法研究Ⅱ	1・2後	2	1
		民法研究AⅠ	1・2前	2	1	民法研究AⅠ	1・2前	2	1
		民法研究AⅡ	1・2後	2	1	民法研究AⅡ	1・2後	2	1
		民法研究BⅠ	1・2前	2	1	民法研究BⅠ（未開講）	1・2前	2	1
		民法研究BⅡ	1・2後	2	1	民法研究BⅡ	1・2後	2	1
		刑法研究Ⅰ	1・2前	2	1	刑法研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
		刑法研究Ⅱ	1・2後	2	1	刑法研究Ⅱ	1・2後	2	1
		商法・経済法研究Ⅰ	1・2前	2	1	商法・経済法研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1
		商法・経済法研究Ⅱ	1・2後	2	1	商法・経済法研究Ⅱ	1・2後	2	1
		労働法研究Ⅰ	1・2前	2	1	労働法研究Ⅰ	1・2前	2	1
		労働法研究Ⅱ	1・2後	2	1	労働法研究Ⅱ	1・2後	2	1
		社会保障法研究Ⅰ	1・2後	2	1	社会保障法研究Ⅰ	1・2前	2	1
		社会保障法研究Ⅱ	1・2前	2	1	社会保障法研究Ⅱ	1・2後	2	1
		行政法研究Ⅰ	1・2後	2	1	行政法研究Ⅰ	1・2後	2	1
		行政法研究Ⅱ	1・2前	2	1	行政法研究Ⅱ	1・2前	2	1
比較法研究Ⅰ	1・2後	2	1	比較法研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1		
比較法研究Ⅱ	1・2前	2	1	比較法研究Ⅱ	1・2後	2	1		
国際法研究Ⅰ	1・2前	2	1	国際法研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1		
国際法研究Ⅱ	1・2後	2	1	国際法研究Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1		
行政学研究Ⅰ	1・2前	2	1	行政学研究Ⅰ	1・2前	2	1		
行政学研究Ⅱ	1・2後	2	1	行政学研究Ⅱ	1・2後	2	1		
公共政策論研究Ⅰ	1・2前	2	1	公共政策論研究Ⅰ	1・2前	2	1		
公共政策論研究Ⅱ	1・2後	2	1	公共政策論研究Ⅱ	1・2前	2	1		
公共哲学研究Ⅰ	1・2後	2	1	公共哲学研究Ⅰ（未開講）	1・2後	2	1		
公共哲学研究Ⅱ	1・2前	2	1	公共哲学研究Ⅱ（未開講）	1・2前	2	1		
理論経済学研究Ⅰ	1・2前	2	1	理論経済学研究Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1		
理論経済学研究Ⅱ	1・2後	2	1	理論経済学研究Ⅱ	1・2後	2	1		
経済統計研究Ⅰ	1・2前	2	1	経済統計研究Ⅰ	1・2前	2	1		





卒業要件及び履修方法

1 専攻の修了には、必修科目の「テクノロジーと人間社会Ⅰ」1単位と研究指導科目8単位を含め30単位以上を修得し最終試験に合格すること。ただし、公認心理師コースの修了要件は38単位とする。

2 修了要件について  
 (1)Aタイプ(一般専門教育)  
 ○大学院共通科目2単位、研究科共通科目2単位、キャリア支援科目2単位の合計6単位以上を履修する。公認心理師コースではキャリア支援科目は履修要件に含まれない。  
 ○拡充専門科目は、2～6単位とする。  
 ○コア専門科目は、10～14単位とする。  
 (公認心理師コースは24単位とする。)  
 ○研究指導科目は、人文科学研究法、専門基礎演習、課題研究演習Ⅰ、課題研究演習Ⅱの8単位とする。  
 (2)Bタイプ(リカレント専門教育)  
 ○大学院共通科目0～4単位、研究科共通科目2単位の合計2単位以上を履修する。  
 ○拡充専門科目は、4～8単位とする。  
 ○コア専門科目は、8～16単位とする。  
 (公認心理師コースは24単位とする。)  
 ○研究指導科目は、人文科学研究法、専門基礎演習、課題研究演習Ⅰ、課題研究演習Ⅱの8単位とする。  
 (3)Cタイプ(留学生専門教育)  
 ○大学院共通科目2単位、研究科共通科目2単位、キャリア支援科目2～4単位の合計6単位以上を履修する。  
 ＊キャリア支援科目の日本語表現法は、自由科目とし、修了要件外とする。  
 ○拡充専門科目は、2～6単位とする。  
 ○コア専門科目は、8～12単位とする。  
 ○研究指導科目は、人文科学研究法、専門基礎演習、課題研究演習Ⅰ、課題研究演習Ⅱの8単位とする。

3 留意事項  
 ○専門基礎科目、人文科学研究法、専門基礎演習、課題研究演習Ⅰ・課題研究演習Ⅱは所属する専攻に開講される科目を履修すること。  
 ○事前の履修指導を経て、他研究科・他大学院において修得した専攻科目の単位を、本研究科の拡充専門科目の単位として認定することができる。  
 ○隔年開講の科目のⅠ・Ⅱは履修の段階ではなく、内容の違いであるので、ⅠからでもⅡからでも履修できる。

卒業要件及び履修方法

1 専攻の修了には、必修科目の「テクノロジーと人間社会Ⅰ」1単位と研究指導科目8単位を含め30単位以上を修得し最終試験に合格すること。ただし、公認心理師コースの修了要件は38単位とする。

2 修了要件について  
 (1)Aタイプ(一般専門教育)  
 ○大学院共通科目2単位、研究科共通科目2単位、キャリア支援科目2単位の合計6単位以上を履修する。公認心理師コースではキャリア支援科目は履修要件に含まれない。  
 ○拡充専門科目は、2～6単位とする。  
 ○コア専門科目は、10～14単位とする。  
 (公認心理師コースは24単位とする。)  
 ○研究指導科目は、人文科学研究法、専門基礎演習、課題研究演習Ⅰ、課題研究演習Ⅱの8単位とする。  
 (2)Bタイプ(リカレント専門教育)  
 ○大学院共通科目0～4単位、研究科共通科目2単位の合計2単位以上を履修する。  
 ○拡充専門科目は、4～8単位とする。  
 ○コア専門科目は、8～16単位とする。  
 (公認心理師コースは24単位とする。)  
 ○研究指導科目は、人文科学研究法、専門基礎演習、課題研究演習Ⅰ、課題研究演習Ⅱの8単位とする。  
 (3)Cタイプ(留学生専門教育)  
 ○大学院共通科目2単位、研究科共通科目2単位、キャリア支援科目2～4単位の合計6単位以上を履修する。  
 ＊キャリア支援科目の日本語表現法は、自由科目とし、修了要件外とする。  
 ○拡充専門科目は、2～6単位とする。  
 ○コア専門科目は、8～12単位とする。  
 ○研究指導科目は、人文科学研究法、専門基礎演習、課題研究演習Ⅰ、課題研究演習Ⅱの8単位とする。

3 留意事項  
 ○専門基礎科目、人文科学研究法、専門基礎演習、課題研究演習Ⅰ・課題研究演習Ⅱは所属する専攻に開講される科目を履修すること。  
 ○事前の履修指導を経て、他研究科・他大学院において修得した専攻科目の単位を、本研究科の拡充専門科目の単位として認定することができる。  
 ○隔年開講の科目のⅠ・Ⅱは履修の段階ではなく、内容の違いであるので、ⅠからでもⅡからでも履修できる。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和3年度】**

- ・「担当教員の見直し」により「知的所有権特論」の教員配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「担当教員の見直し」により「持続社会システム論Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「担当教員の見直し」により「持続社会システム論Ⅱ」の教員配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担7」に変更。
- ・「担当教員の見直し」により「地域サステナビリティ農学概論」の教員配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・「担当教員の見直し」により「人間システム基礎論Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・「カリキュラム充実化」により授業科目「サステナビリティ学最新線」、「国内実践教育演習」、「国際実践教育演習」、「ファシリテーション能力開発演習Ⅰ」、「ファシリテーション能力開発演習Ⅱ」を追加。
- ・「担当教員の見直し」により「テクノロジーと人間社会Ⅰ」の教員配置を「教授1」から「教授3」、「兼任・兼担4」から「兼任・兼担5」に変更。
- ・「教員退職」により「専門基礎科目」の教員配置を「教授23」から「教授22」に変更。
- ・「担当教員の見直し」により「英文修辞法Ⅰ」の教員配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・「時間割見直し」により「英語音声表現演習Ⅱ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「担当教員の見直し」により「英語音声表現演習Ⅱ」の教員配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・「時間割見直し」により「日本思想史研究Ⅰ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「日本思想史研究Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「日本古典・近代語演習Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「日本古典文学演習Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「美術史研究Ⅱ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「フランス美術史研究Ⅱ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「担当教員の見直し」により「イギリス文学研究Ⅰ」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「担当教員の見直し」により「イギリス文学研究Ⅱ」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「時間割見直し」により「イギリス文学演習Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「担当教員の見直し」により「イギリス文学演習Ⅰ」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「担当教員の見直し」により「イギリス文学演習Ⅱ」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「時間割見直し」により「アメリカ文学研究Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「教員退職」により「アメリカ文学研究Ⅰ」の教員配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・「教員退職」により「アメリカ文学研究Ⅱ」の教員配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・「教員退職」により「アメリカ文学演習Ⅰ」の教員配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・「教員退職」により「アメリカ文学演習Ⅱ」の教員配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・「時間割見直し」により「社会言語学演習Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「日本社会史研究Ⅱ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「行動機構論研究Ⅱ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「行動機構論演習Ⅱ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「教育分野に関する理論と支援の展開」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「産業・労働分野に関する理論と支援の展開」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「保健医療分野に関する理論と支援の展開」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「投映法特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2通」に変更。
- ・「時間割見直し」により「箱庭療法特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2通」に変更。
- ・「時間割見直し」により「映像メディア研究」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「グローバル化と地域開発研究」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「持続可能な開発とSDGs研究」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「地方政治論研究Ⅰ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「地方政治論研究Ⅱ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「社会地理学研究Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「環境社会学研究Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「環境社会学研究Ⅱ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「社会意識論研究」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「地誌学研究Ⅰ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「地誌学研究Ⅱ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「憲法研究Ⅰ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「憲法研究Ⅱ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「社会保障法研究Ⅰ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「社会保障法研究Ⅱ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「比較法研究Ⅰ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「比較法研究Ⅱ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「公共政策論研究Ⅱ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「経済政策研究Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「時間割見直し」により「日本経済史研究Ⅰ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・「時間割見直し」により「日本経済史研究Ⅱ」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・「カリキュラム充実化」により授業科目「経営組織論研究」、「経営財務論」、「財務会計論」、「税務会計論」を追加。
- ・「担当教員の見直し」により「人文科学研究法」の教員配置を「教授3」から「教授6、准教授1、講師1」に変更。
- ・「教員退職」により「専門基礎演習」の教員配置を「教授23」から「教授22」に変更。
- ・「教員退職」により「課題研究演習Ⅰ」の教員配置を「教授23」から「教授22」に変更。
- ・「教員退職」により「課題研究演習Ⅱ」の教員配置を「教授23」から「教授22」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	967 科目	4 科目	976 科目	5 科目	988 科目	4 科目	997 科目	
				[ ]	[ 21 ]	[ ]	[ 21 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	現代ジャーナリズム研究	2	1・2	専門	選択	後任を補充できなかったため未開講。令和4年度に後任を補充し、各科目を開講する予定。
2	マスコミ研究	2	1・2	専門	選択	
3	経済地理学研究Ⅰ	2	1・2	専門	選択	担当教員サバティカルのため未開講。令和4年度に復職し、各科目を開講予定。
4	経済地理学研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	
5	地域社会論研究Ⅰ	2	1・2	専門	選択	担当教員育児休業のため未開講。令和4年度に復職し、各科目を開講予定。
6	地域社会論研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	
7	家族社会学研究Ⅰ	2	1・2	専門	選択	担当教員病気休職のため未開講。令和4年度に復職し、各科目を開講予定。
8	家族社会学研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	
9	環境政策・経済学研究Ⅰ	2	1・2	専門	選択	担当教員長期海外出張のため未開講。令和4年度に復職し、各科目を開講予定。
10	環境政策・経済学研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	
11	国際法研究Ⅰ	2	1・2	専門	選択	担当教員育児休業のため未開講。令和4年度に復職し、各科目を開講予定。
12	国際法研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	
13	公共哲学研究Ⅰ	2	1・2	専門	選択	後任を補充できなかったため未開講。令和4年度に後任を補充し、各科目を開講する予定。
14	公共哲学研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	
15	アジア経済論研究Ⅰ	2	1・2	専門	選択	担当教員育児休業のため未開講。令和4年度に復職し、各科目を開講予定。
16	アジア経済論研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該科目は、必修科目等ではなく数ある選択科目の一つなので、休講による学生の修了への影響は少ないと考える。また、令和4年度には後任補充や担当教員の復職を見込んでいるため、学生への影響は少ないと考えている。  
学生への周知については、各種掲示や指導教員からの履修指導により行っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{64}{976} = \boxed{6.55} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	不算入用地見直し(3) 577㎡		
	校舎敷地	302,661㎡ <del>312,031㎡</del>	0㎡	0㎡	302,661㎡ <del>312,031㎡</del>			
	運動場用地	63,287㎡ <del>74,277㎡</del>	0㎡	0㎡	63,287㎡ <del>74,277㎡</del>			
	小 計	365,948㎡ <del>386,308㎡</del>	0㎡	0㎡	365,948㎡ <del>386,308㎡</del>			
	そ の 他	445,442㎡ <del>424,505㎡</del>	0㎡	0㎡	445,442㎡ <del>424,505㎡</del>			
	合 計	811,390㎡ <del>810,813㎡</del>	0㎡	0㎡	811,390㎡ <del>810,813㎡</del>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	不算入用地見直し(3) △4,105㎡		
		143,350㎡ <del>147,455㎡</del> ( 147,455㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	143,350㎡ <del>147,455㎡</del> ( 147,455㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 11室	演 習 室 12室	実験実習室 10室	情報処理学習施設 3室 (補助職員 1人)	語学学習施設 0室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 人文社会科学研究科 人文科学専攻			室 数 34 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不 能なため、大学全体の 数 【図書及び視聴覚資 料】 新規購入による増加及 び除却による減少のため 【学術雑誌】 新規購入による増加及 び購入タイトル見直し による減少のため
	人文社会科学研 究科	1,014,952 [283,436] 4,000,497 [283,199]	16,468 [4,707] 17,414 [5,688]	2,608 [2,604] 2,519 [2,516]	3,193 2,761	0	0	
	人文科学専攻	(1,014,952 [283,436]) (4,000,497 [283,199])	(16,468 [4,707]) (17,414 [5,688])	(2,608 [2,604]) (2,519 [2,516])	(3,193) (2,761)	(0)	(0)	
	計	1,014,952 [283,436] 4,000,497 [283,199]	16,468 [4,707] 17,414 [5,688]	2,608 [2,604] 2,519 [2,516]	3,193 2,761	0	0	
(6) 図 書 館		面 積 11,986㎡	閱 覧 座 席 数 865	収 納 可 能 冊 数 952,000	大学全体			
(7) 体 育 館		面 積 3,687㎡ <del>5,695㎡</del>	体育館以外のスポーツ施設の概要 武 道 場 武 道			大学全体 不算入用地見直し(3) △2,008		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	茨城大学						学生募集停止学科数	27	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	2	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文社会科学部	4	360	-	1,440	-	1.02	1.03	-	平成29	-	
現代社会学科	4	130	-	520	学士(現代社会学)	1.04	1.02	-	平成29	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	-	480	学士(社会科学)	1.03	1.04	-	平成29	同上	
人間文化学科	4	110	-	440	学士(人文科学)	1.01	1.03	-	平成29	同上	
人文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和42	同上	
人文コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(人文科学)	-	-	-	平成18	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	-	-	-	学士(社会科学)	-	-	-	昭和50	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部	4	275	-	1,100	-	1.03	1.02	-	昭和24	-	
学校教育教員養成課程	4	240	-	960	学士(教育学)	1.04	1.03	-	平成8	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	-	140	学士(教育学)	1.01	1.00	-	昭和50	同上	
情報文化課程	4	-	-	-	学士(教養)	-	-	-	平成元	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	-	-	-	学士(教養)	-	-	-	平成11	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部	-	205	3年次4	828	-	1.06	1.06	-	昭和42	-	
理学科	4	205	3年次4	828	学士(理学)	1.06	1.06	-	平成17	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部	4	545	3年次20	2,220	-	1.02	1.02	-	昭和24	-	
機械システム工学科(昼)	4	130	3年次6	532	学士(工学)	1.02	1.02	-	平成30	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	-	160	学士(工学)	1.04	1.07	-	平成30	同上	
電気電子システム工学科	4	125	3年次5	510	学士(工学)	1.02	1.02	-	平成30	同上	
物質科学工学科	4	110	3年次3	446	学士(工学)	1.00	1.02	-	平成30	同上	
情報工学科	4	80	3年次4	328	学士(工学)	1.02	1.02	-	平成30	同上	
都市システム工学科	4	60	3年次2	244	学士(工学)	1.06	1.03	-	平成30	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
都市システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成8	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部	4	160	3年次10	660	-	1.04	1.05	-	昭和27	-	
食生命科学科	4	80	3年次5	330	学士(農学)	1.03	1.02	-	平成29	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
地域総合農学科	4	80	3年次5	330	学士(農学)	1.04	1.07	-	平成29	同上	
生物生産科学科	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	-	平成12	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学科	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	-	昭和62	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	-	平成12	同上	平成29年度より学生募集停止
大学全体(学部)	-	1,545	34	6,248	-	1.03	1.03	-	-	-	

人文社会科学研究科	2	31	-	62	-	0.58	0.58	-	平成29	-	
人文科学専攻	2	17	-	34	修士 (学術)	0.64	0.64	-	令和3	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	14	-	28	修士 (学術)	0.50	0.50	-	令和3	同上	
文化科学専攻	2	-	-	-	修士 (学術)	-	-	-	平成21	同上	令和3年度より学生募集停止
社会科学専攻	2	-	-	-	修士 (学術)	-	-	-	平成26	同上	令和3年度より学生募集停止
教育学研究科	2	43	-	86	-	0.93	0.93	-	昭和63	-	
教育実践高度化専攻	2	43	-	86	教職修士 (専門職)	0.93	0.93	-	令和3	茨城県水戸市文京2-1-1	
障害児教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和63	同上	令和3年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和63	同上	令和3年度より学生募集停止
養護教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成9	同上	令和3年度より学生募集停止
学校臨床心理専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成13	同上	令和3年度より学生募集停止
教育実践高度化専攻	2	-	-	-	教職修士 (専門職)	-	-	-	平成28	同上	令和3年度より学生募集停止
理工学研究科	2	348	-	696	-	1.20	1.27	-	平成7	-	
(博士前期課程)											
量子線科学専攻	2	102	-	204	修士(理学) 修士(工学)	1.05	1.15	-	平成28	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	-	90	修士 (理学)	1.29	1.35	-	平成21	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	-	172	修士 (工学)	1.21	1.15	-	平成30	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	-	116	修士 (工学)	1.10	1.08	-	平成30	同上	
情報工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.64	2.06	-	平成30	同上	
都市システム工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.31	1.55	-	平成30	同上	
農学研究科	-	48	-	96	修士 (農学)	0.90	0.87	-	昭和45	-	
農学専攻	2	48	-	96	修士 (農学)	0.90	0.87	-	平成29	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
地域環境科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	-	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
大学全体(大学院)	-	470	-	940	-	1.11	1.15	-	-	-	
理工学研究科	3	38	-	114	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.56	0.63	-	平成7	-	
(博士後期課程)											
量子線科学専攻	3	20	-	60	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.45	0.40	-	平成28	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	-	30	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.60	0.70	-	平成28	同上	
社会インフラシステム科学専攻	3	8	-	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.79	1.12	-	平成28	同上	
生産科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	-	平成7	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	-	平成7	同上	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	-	平成7	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
大学全体(大学院(博士後期))	-	38	-	114	-	0.56	0.63	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。  
・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、收容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<人文社会科学部 人文科学専攻(M)>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西山 國雄 (54) <令和3年4月> Ph.D. (米国)
		言語文法論研究Ⅰ【隔年】 言語文法論研究Ⅱ【隔年】 言語文法論演習Ⅰ【隔年】 言語文法論演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 人文科学研究法※ 専門基礎演習 テクノロジーと人間社会Ⅰ※ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	青山 和夫 (58) <令和3年4月> Ph.D. in Anthropology (米国)
		文化人類学研究Ⅰ【隔年】 文化人類学研究Ⅱ【隔年】 文化人類学演習Ⅰ【隔年】 文化人類学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西山 國雄 (54) <令和3年4月> Ph.D. (米国)
		言語文法論研究Ⅰ【隔年】 言語文法論研究Ⅱ【隔年】 言語文法論演習Ⅰ【隔年】 言語文法論演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 人文科学研究法※ 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>英語講読Ⅰ【隔年】</b>
専	教授	青山 和夫 (58) <令和3年4月> Ph.D. in Anthropology (米国)
		文化人類学研究Ⅰ【隔年】 文化人類学研究Ⅱ【隔年】 文化人類学演習Ⅰ【隔年】 文化人類学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>テクノロジーと人間社会Ⅰ※</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井澤 耕一 (52) <令和3年4月> 博士(文学)
		中国思想史研究Ⅰ【隔年】 中国思想史研究Ⅱ【隔年】 中国思想史演習Ⅰ【隔年】 中国思想史演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ インターンシップ
専	教授	石井 宏典 (55) <令和3年4月> 博士(文学)
		行動文化論研究Ⅰ【隔年】 行動文化論研究Ⅱ【隔年】 行動文化論演習Ⅰ【隔年】 行動文化論演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	市川 千恵子 (57) <令和3年4月> 博士(人文科学)
		イギリス文学研究Ⅰ【隔年】 イギリス文学研究Ⅱ【隔年】 イギリス文学演習Ⅰ イギリス文学演習Ⅱ 英語講読Ⅰ【隔年】 英文修辞法Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井澤 耕一 (52) <令和3年4月> 博士(文学)
		中国思想史研究Ⅰ【隔年】 中国思想史研究Ⅱ【隔年】 中国思想史演習Ⅰ【隔年】 中国思想史演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ インターンシップ <b>テクノロジーと人間社会Ⅰ※</b>
専	教授	石井 宏典 (55) <令和3年4月> 博士(文学)
		行動文化論研究Ⅰ【隔年】 行動文化論研究Ⅱ【隔年】 行動文化論演習Ⅰ【隔年】 行動文化論演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 聡 (59) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本思想史研究Ⅰ【隔年】 日本思想史研究Ⅱ【隔年】 日本思想史演習Ⅰ【隔年】 日本思想史演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	岡崎 正男 (57) <令和3年4月> 博士(言語学)
		英語学研究Ⅰ【隔年】 英語学研究Ⅱ【隔年】 英語学演習Ⅰ 英語学演習Ⅱ 英語講読Ⅱ【隔年】 英語音声表現演習Ⅰ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	櫻井 豪人 (48) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本古典・近代語研究Ⅰ【隔年】 日本古典・近代語研究Ⅱ【隔年】 日本古典・近代語演習Ⅰ【隔年】 日本古典・近代語演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 聡 (59) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本思想史研究Ⅰ【隔年】 日本思想史研究Ⅱ【隔年】 日本思想史演習Ⅰ【隔年】 日本思想史演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	岡崎 正男 (57) <令和3年4月> 博士(言語学)
		英語学研究Ⅰ【隔年】 英語学研究Ⅱ【隔年】 英語学演習Ⅰ 英語学演習Ⅱ 英語講読Ⅱ【隔年】 英語音声表現演習Ⅰ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	櫻井 豪人 (48) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本古典・近代語研究Ⅰ【隔年】 日本古典・近代語研究Ⅱ【隔年】 日本古典・近代語演習Ⅰ【隔年】 日本古典・近代語演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澁谷 浩一 (56) <令和3年4月> 修士(文学)
		ユーラシア歴史文化研究Ⅰ【隔年】 ユーラシア歴史文化研究Ⅱ【隔年】 ユーラシア歴史社会研究Ⅰ【隔年】 ユーラシア歴史社会研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	正保 春彦 (62) <令和3年4月> 教育学修士
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開 心理支援に関する理論と実践A 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 心理実践実習E 心理実践実習F 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澁谷 浩一 (56) <令和3年4月> 修士(文学)
		ユーラシア歴史文化研究Ⅰ【隔年】 ユーラシア歴史文化研究Ⅱ【隔年】 ユーラシア歴史社会研究Ⅰ【隔年】 ユーラシア歴史社会研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>人文科学研究法※</b>
専	教授	正保 春彦 (62) <令和3年4月> 教育学修士
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開 心理支援に関する理論と実践A 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 心理実践実習E 心理実践実習F 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	杉本 妙子 (63) <令和3年4月> 文学修士
		社会言語学研究Ⅰ【隔年】 社会言語学研究Ⅱ【隔年】 社会言語学演習Ⅰ【隔年】 社会言語学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	鈴木 敦 (61) <令和3年4月> 文学修士
		中国考古文化研究Ⅰ【隔年】 中国考古文化研究Ⅱ【隔年】 中国考古学研究Ⅰ【隔年】 中国考古学研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	高橋 修 (56) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本文化史研究Ⅰ【隔年】 日本文化史研究Ⅱ【隔年】 日本古代中世史研究Ⅰ【隔年】 日本古代中世史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 人文科学研究法※ 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	杉本 妙子 (63) <令和3年4月> 文学修士
		社会言語学研究Ⅰ【隔年】 社会言語学研究Ⅱ【隔年】 社会言語学演習Ⅰ【隔年】 社会言語学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	鈴木 敦 (61) <令和3年4月> 文学修士
		中国考古文化研究Ⅰ【隔年】 中国考古文化研究Ⅱ【隔年】 中国考古学研究Ⅰ【隔年】 中国考古学研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	高橋 修 (56) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本文化史研究Ⅰ【隔年】 日本文化史研究Ⅱ【隔年】 日本古代中世史研究Ⅰ【隔年】 日本古代中世史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田中 裕 (52) <令和3年4月> 修士(文学)
		考古学研究Ⅰ【隔年】 考古学研究Ⅱ【隔年】 日本考古学研究Ⅰ【隔年】 日本考古学研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	谷口 基 (57) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本近代文学研究Ⅰ【隔年】 日本近代文学研究Ⅱ【隔年】 日本近代文学演習Ⅰ【隔年】 日本近代文学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	永井(岸本) 典子 (63) <令和3年4月> Doctor of Philosophy (Linguistics)(米国)
		応用言語学研究Ⅰ【隔年】 応用言語学研究Ⅱ【隔年】 応用言語学演習Ⅰ【隔年】 応用言語学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田中 裕 (52) <令和3年4月> 修士(文学)
		考古学研究Ⅰ【隔年】 考古学研究Ⅱ【隔年】 日本考古学研究Ⅰ【隔年】 日本考古学研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>テクノロジーと人間社会Ⅰ※</b>
専	教授	谷口 基 (57) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本近代文学研究Ⅰ【隔年】 日本近代文学研究Ⅱ【隔年】 日本近代文学演習Ⅰ【隔年】 日本近代文学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>人文科学研究法※</b>
専	教授	永井(岸本) 典子 (63) <令和3年4月> Doctor of Philosophy (Linguistics)(米国)
		応用言語学研究Ⅰ【隔年】 応用言語学研究Ⅱ【隔年】 応用言語学演習Ⅰ【隔年】 応用言語学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>英文修辞法Ⅱ</b> <b>人文科学研究法※</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中田 潤 (55) <令和3年4月> DOKTORS DER PHILOSOPHIE (ドイツ 連邦共和国)
		ヨーロッパ社会史研究Ⅰ【隔年】 ヨーロッパ社会史研究Ⅱ【隔年】 ヨーロッパ政治史研究Ⅰ【隔年】 ヨーロッパ政治史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	西野 由希子 (55) <令和3年4月> 文学修士
		中国近現代文学研究Ⅰ【隔年】 中国近現代文学研究Ⅱ【隔年】 中国近現代文学演習Ⅰ【隔年】 中国近現代文学演習Ⅱ【隔年】 持続可能なコミュニティ・デザイン論 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	野口 康彦 (55) <令和3年4月> 博士(学術)
		福祉分野に関する理論と支援の展開 家族心理研究 専門基礎科目 人文科学研究法※ 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中田 潤 (55) <令和3年4月> DOKTORS DER PHILOSOPHIE (ドイツ 連邦共和国)
		ヨーロッパ社会史研究Ⅰ【隔年】 ヨーロッパ社会史研究Ⅱ【隔年】 ヨーロッパ政治史研究Ⅰ【隔年】 ヨーロッパ政治史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	西野 由希子 (55) <令和3年4月> 文学修士
		中国近現代文学研究Ⅰ【隔年】 中国近現代文学研究Ⅱ【隔年】 中国近現代文学演習Ⅰ【隔年】 中国近現代文学演習Ⅱ【隔年】 持続可能なコミュニティ・デザイン論 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>国内実践教育演習</b>
専	教授	野口 康彦 (55) <令和3年4月> 博士(学術)
		福祉分野に関する理論と支援の展開 家族心理研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤原 貞朗 (53) <令和3年4月> 修士(文学)
		美術史学研究Ⅰ【隔年】 美術史学研究Ⅱ【隔年】 フランス美術史研究Ⅰ【隔年】 フランス美術史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	堀口 育男 (59) <令和3年4月> 修士(文学)
		日本古典文学研究Ⅰ【隔年】 日本古典文学研究Ⅱ【隔年】 日本古典文学演習Ⅰ【隔年】 日本古典文学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	宮崎 章夫 (50) <令和3年4月> 博士(文学)
		行動機構論研究Ⅰ【隔年】 行動機構論研究Ⅱ【隔年】 行動機構論演習Ⅰ【隔年】 行動機構論演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤原 貞朗 (53) <令和3年4月> 修士(文学)
		美術史学研究Ⅰ【隔年】 美術史学研究Ⅱ【隔年】 フランス美術史研究Ⅰ【隔年】 フランス美術史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	堀口 育男 (59) <令和3年4月> 修士(文学)
		日本古典文学研究Ⅰ【隔年】 日本古典文学研究Ⅱ【隔年】 日本古典文学演習Ⅰ【隔年】 日本古典文学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	教授	宮崎 章夫 (50) <令和3年4月> 博士(文学)
		行動機構論研究Ⅰ【隔年】 行動機構論研究Ⅱ【隔年】 行動機構論演習Ⅰ【隔年】 行動機構論演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>人文科学研究法※</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山田(松沢) 桂子 (56) <令和3年4月> 博士(文学)
		アジア歴史文化研究Ⅰ【隔年】 アジア歴史文化研究Ⅱ【隔年】 アジア歴史社会研究Ⅰ【隔年】 アジア歴史社会研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	准教授	金丸 隆太 (48) <令和3年4月> 修士(文学)
		教育分野に関する理論と支援の展開 心理的アセスメントに関する理論と実践※ 心の健康教育に関する理論と実践※ 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 心理実践実習E 心理実践実習F 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山田(松沢) 桂子 (56) <令和3年4月> 博士(文学)
		アジア歴史文化研究Ⅰ【隔年】 アジア歴史文化研究Ⅱ【隔年】 アジア歴史社会研究Ⅰ【隔年】 アジア歴史社会研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>人文科学研究法※</b>
専	教授	<b>小泉 由美子 (65) &lt;令和3年4月&gt; 学術修士</b>
		<b>アメリカ文学研究Ⅰ【隔年】 アメリカ文学研究Ⅱ【隔年】 アメリカ文学演習Ⅰ アメリカ文学演習Ⅱ 英文修辞法Ⅰ【隔年】 英語音声表現演習Ⅱ【隔年】</b>
専	准教授	金丸 隆太 (48) <令和3年4月> 修士(文学)
		教育分野に関する理論と支援の展開 心理的アセスメントに関する理論と実践※ 心の健康教育に関する理論と実践※ 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 心理実践実習E 心理実践実習F 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	神田 大吾 (62) <令和3年4月> 文学修士
		フランス文学研究Ⅰ【隔年】 フランス文学研究Ⅱ【隔年】 フランス文学演習Ⅰ【隔年】 フランス文学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	准教授	佐々木 啓 (42) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本社会史研究Ⅰ【隔年】 日本社会史研究Ⅱ【隔年】 日本近現代史研究Ⅰ【隔年】 日本近現代史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	准教授	添田 仁 (45) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本政治史研究Ⅰ【隔年】 日本政治史研究Ⅱ【隔年】 日本近世史研究Ⅰ【隔年】 日本近世史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	神田 大吾 (62) <令和3年4月> 文学修士
		フランス文学研究Ⅰ【隔年】 フランス文学研究Ⅱ【隔年】 フランス文学演習Ⅰ【隔年】 フランス文学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	准教授	佐々木 啓 (42) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本社会史研究Ⅰ【隔年】 日本社会史研究Ⅱ【隔年】 日本近現代史研究Ⅰ【隔年】 日本近現代史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>人文科学研究法※</b>
専	准教授	添田 仁 (45) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本政治史研究Ⅰ【隔年】 日本政治史研究Ⅱ【隔年】 日本近世史研究Ⅰ【隔年】 日本近世史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田原 彰太郎 (42) <令和3年4月> 博士(文学)
		実践哲学研究Ⅰ【隔年】 実践哲学研究Ⅱ【隔年】 実践哲学演習Ⅰ【隔年】 実践哲学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	准教授	塚原 伸治 (37) <令和3年4月> 博士(文学)
		比較文化論研究Ⅰ【隔年】 比較文化論研究Ⅱ【隔年】 比較文化論演習Ⅰ【隔年】 比較文化論演習Ⅱ【隔年】 人間システム基礎論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	准教授	松本 光太郎 (48) <令和3年4月> 博士(人間環境学)
		生涯発達論研究Ⅰ【隔年】 生涯発達論研究Ⅱ【隔年】 生涯発達論演習Ⅰ【隔年】 生涯発達論演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田原 彰太郎 (42) <令和3年4月> 博士(文学)
		実践哲学研究Ⅰ【隔年】 実践哲学研究Ⅱ【隔年】 実践哲学演習Ⅰ【隔年】 実践哲学演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	准教授	塚原 伸治 (37) <令和3年4月> 博士(文学)
		比較文化論研究Ⅰ【隔年】 比較文化論研究Ⅱ【隔年】 比較文化論演習Ⅰ【隔年】 比較文化論演習Ⅱ【隔年】 人間システム基礎論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
専	准教授	松本 光太郎 (48) <令和3年4月> 博士(人間環境学)
		生涯発達論研究Ⅰ【隔年】 生涯発達論研究Ⅱ【隔年】 生涯発達論演習Ⅰ【隔年】 生涯発達論演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	<p>本山 宏希 (46) &lt;令和3年4月&gt; 博士(文学)</p>
		<p>認知行動論研究Ⅰ【隔年】 認知行動論研究Ⅱ【隔年】 認知行動論演習Ⅰ【隔年】 認知行動論演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ</p>
専	准教授	<p>森下 嘉之 (42) &lt;令和3年4月&gt; 博士(学術)</p>
		<p>ヨーロッパ歴史文化研究Ⅰ【隔年】 ヨーロッパ歴史文化研究Ⅱ【隔年】 ヨーロッパ近現代史研究Ⅰ【隔年】 ヨーロッパ近現代史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ</p>
専	講師	<p>大島 聖美 (38) &lt;令和3年4月&gt; 博士(人文科学)</p>
		<p>心理支援に関する理論と実践B※ 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践※ 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 心理実践実習E 心理実践実習F 投映法特論</p>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	<p>本山 宏希 (46) &lt;令和3年4月&gt; 博士(文学)</p>
		<p>認知行動論研究Ⅰ【隔年】 認知行動論研究Ⅱ【隔年】 認知行動論演習Ⅰ【隔年】 認知行動論演習Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ</p>
専	准教授	<p>森下 嘉之 (42) &lt;令和3年4月&gt; 博士(学術)</p>
		<p>ヨーロッパ歴史文化研究Ⅰ【隔年】 ヨーロッパ歴史文化研究Ⅱ【隔年】 ヨーロッパ近現代史研究Ⅰ【隔年】 ヨーロッパ近現代史研究Ⅱ【隔年】 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ</p>
専	講師	<p>大島 聖美 (38) &lt;令和3年4月&gt; 博士(人文科学)</p>
		<p>心理支援に関する理論と実践B※ 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践※ 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 心理実践実習E 心理実践実習F 投映法特論</p>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	桐山 大介 (38) <令和3年4月> Ph.D. in English (米国)
		アメリカ文学研究Ⅰ【隔年】 アメリカ文学研究Ⅱ【隔年】 アメリカ文学演習Ⅰ アメリカ文学演習Ⅱ 英文修辞法Ⅰ【隔年】 英語音声表現演習Ⅱ【隔年】
専	講師	地井 和也 (41) <令和3年4月> 修士(心理学)
		心理的アセスメントに関する理論と実践※ 心理支援に関する理論と実践B※ 心の健康教育に関する理論と実践※ 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 心理実践実習E 心理実践実習F 箱庭療法特論
兼担	教授	荒木 雅也 (48) <令和3年4月> 修士(法学)
		商法・経済法研究Ⅰ 商法・経済法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	地井 和也 (41) <令和3年4月> 修士(心理学)
		心理的アセスメントに関する理論と実践※ 心理支援に関する理論と実践B※ 心の健康教育に関する理論と実践※ 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 心理実践実習E 心理実践実習F 箱庭療法特論 <b>人文科学研究法※</b>
兼担	教授	荒木 雅也 (48) <令和3年4月> 修士(法学)
		商法・経済法研究Ⅰ 商法・経済法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	伊藤 哲司 (56) <令和3年4月> 博士(心理学)
		社会行動論研究Ⅰ【隔年】 社会行動論研究Ⅱ【隔年】 社会行動論演習Ⅰ【隔年】 社会行動論演習Ⅱ【隔年】 人間システム基礎論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	井上 拓也 (57) <令和3年4月> 政治学修士
		公共政策論研究Ⅰ 公共政策論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 テクノロジーと人間社会Ⅰ※ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	今村 一真 (49) <令和3年4月> 博士(マネジメント)
		マーケティング論研究Ⅰ マーケティング論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	伊藤 哲司 (56) <令和3年4月> 博士(心理学)
		社会行動論研究Ⅰ【隔年】 社会行動論研究Ⅱ【隔年】 社会行動論演習Ⅰ【隔年】 社会行動論演習Ⅱ【隔年】 人間システム基礎論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>国内実践教育演習</b> <b>国際実践教育演習</b>
兼任	教授	井上 拓也 (57) <令和3年4月> 政治学修士
		公共政策論研究Ⅰ 公共政策論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	今村 一真 (49) <令和3年4月> 博士(マネジメント)
		マーケティング論研究Ⅰ マーケティング論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	内田 聡 (53) <令和3年4月> 博士(商学)
		金融論研究Ⅰ 金融論研究Ⅱ 専門基礎科目 人文科学研究法※ 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	加藤 篤志 (56) <令和3年4月> 文学修士
		コミュニケーションデータ分析研究 コミュニケーション社会学研究 現代ジャーナリズム研究 マスコミ研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	加藤 敏弘 (59) <令和3年4月> 体育学修士
		スポーツ社会研究Ⅰ スポーツ社会研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	内田 聡 (53) <令和3年4月> 博士(商学)
		金融論研究Ⅰ 金融論研究Ⅱ 専門基礎科目 人文科学研究法※ 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	加藤 篤志 (56) <令和3年4月> 文学修士
		コミュニケーションデータ分析研究 コミュニケーション社会学研究 現代ジャーナリズム研究 マスコミ研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	加藤 敏弘 (59) <令和3年4月> 体育学修士
		スポーツ社会研究Ⅰ スポーツ社会研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>テクノロジーと人間社会Ⅰ※</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高野 光平 (49) <令和3年4月> 博士(文学)
		近代日本メディア史研究 映像広告論研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	後藤(磯崎) 玲子 (47) <令和3年4月> 修士(社会情報学)
		経済政策研究Ⅰ 経済政策研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	渋谷 敦司 (63) <令和3年4月> 社会学修士
		家族社会学研究Ⅰ 家族社会学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高野 光平 (49) <令和3年4月> 博士(文学)
		近代日本メディア史研究 映像広告論研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	後藤(磯崎) 玲子 (47) <令和3年4月> 修士(社会情報学)
		経済政策研究Ⅰ 経済政策研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	渋谷 敦司 (63) <令和3年4月> 社会学修士
		家族社会学研究Ⅰ 家族社会学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	菅谷 克行 (51) <令和3年4月> 修士(工学)
		メディア教育論研究 電子メディア論研究 専門基礎科目 専門基礎演習 テクノロジーと人間社会Ⅰ※ テクノロジーと人間社会Ⅱ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	鈴木 栄幸 (57) <令和3年4月> 博士(学術)
		学習デザイン論研究 情報デザイン研究 専門基礎科目 専門基礎演習 テクノロジーと人間社会Ⅰ※ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	清山 玲 (59) <令和3年4月> 経済学修士
		労働経済論研究Ⅰ 労働経済論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	菅谷 克行 (51) <令和3年4月> 修士(工学)
		メディア教育論研究 電子メディア論研究 専門基礎科目 専門基礎演習 テクノロジーと人間社会Ⅰ※ テクノロジーと人間社会Ⅱ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	鈴木 栄幸 (57) <令和3年4月> 博士(学術)
		学習デザイン論研究 情報デザイン研究 専門基礎科目 専門基礎演習 テクノロジーと人間社会Ⅰ※ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	清山 玲 (59) <令和3年4月> 経済学修士
		労働経済論研究Ⅰ 労働経済論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	高井 美智明 (61) <令和3年4月> 経済学修士
		監査論研究Ⅰ 監査論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	教授	田中 耕市 (47) <令和3年4月> 博士(理学)
		経済地理学研究Ⅰ 経済地理学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	教授	田中 泉 (60) <令和3年4月> 経済学修士
		経済統計研究Ⅰ 経済統計研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 テクノロジーと人間社会Ⅰ※ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	教授	蓮井 誠一郎 (49) <令和3年4月> 修士(国際学)
		国際政治学研究Ⅰ 国際政治学研究Ⅱ 持続社会システム論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	高井 美智明 (61) <令和3年4月> 経済学修士
		監査論研究Ⅰ 監査論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	教授	田中 耕市 (47) <令和3年4月> 博士(理学)
		経済地理学研究Ⅰ 経済地理学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	教授	田中 泉 (60) <令和3年4月> 経済学修士
		経済統計研究Ⅰ 経済統計研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	教授	蓮井 誠一郎 (49) <令和3年4月> 修士(国際学)
		国際政治学研究Ⅰ 持続社会システム論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	原口(中本) 弥生 (49) <令和3年4月> 博士(社会学)
		環境社会学研究Ⅰ 環境社会学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	古屋 等 (57) <令和3年4月> 法学修士
		比較法研究Ⅰ 比較法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	馬渡 剛 (48) <令和3年4月> 博士(政治学)
		地方政治論研究Ⅰ 地方政治論研究Ⅱ 特定テーマ演習 地域資源活用研究法 地域連携創生研究演習 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ 政策特定課題研究演習 政策プレゼン研究演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	原口(中本) 弥生 (49) <令和3年4月> 博士(社会学)
		環境社会学研究Ⅰ 環境社会学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	古屋 等 (57) <令和3年4月> 法学修士
		比較法研究Ⅰ 比較法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	教授	馬渡 剛 (48) <令和3年4月> 博士(政治学)
		地方政治論研究Ⅰ 地方政治論研究Ⅱ 特定テーマ演習 地域資源活用研究法 地域連携創生研究演習 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ 政策特定課題研究演習 政策プレゼン研究演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	村上 信夫 (62) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)
		映像メディア研究 メディア文化研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	教授	葉 倩璋 (57) <令和3年4月> Ph.D. in Geographical Science (オーストラリア連邦)
		社会地理学研究Ⅰ 社会地理学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	教授	八若 壽美子 (63) <令和3年4月> 修士(人文科学)
		日本語表現法
兼担	教授	安 龍洙 (55) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本語表現法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	村上 信夫 (62) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)
		映像メディア研究 メディア文化研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	教授	葉 倩璋 (57) <令和3年4月> Ph.D. in Geographical Science (オーストラリア連邦)
		社会地理学研究Ⅰ 社会地理学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	教授	八若 壽美子 (63) <令和3年4月> 修士(人文科学)
		日本語表現法
兼担	教授	安 龍洙 (55) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本語表現法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	布施 泰子 (57) <令和3年4月> 博士(医学)
		保健医療分野に関する理論と支援 の展開
兼任	教授	阿部 信一郎 (55) <令和3年4月> 水産学博士
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	教授	上地 勝 (51) <令和3年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (58) <令和3年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	岡田 誠 (57) <令和3年4月> 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	梅比良 正弘 (66) <令和3年4月> 博士(工学)
		知的所有権特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	布施 泰子 (57) <令和3年4月> 博士(医学)
		保健医療分野に関する理論と支援 の展開
兼任	教授	阿部 信一郎 (55) <令和3年4月> 水産学博士
		人間システム基礎論Ⅱ <b>国内実践教育演習</b>
兼任	教授	上地 勝 (51) <令和3年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (58) <令和3年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	岡田 誠 (57) <令和3年4月> 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	関東 康祐 (63) <令和3年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼担	教授	羽瀨 裕真 (58) <令和3年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼担	教授	湊 淳 (60) <令和3年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼担	教授	横木 裕宗 (56) <令和3年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論 I
兼担	教授	白岩 雅和 (60) <令和3年4月> 農学博士
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	教授	成澤 才彦 (58) <令和3年4月> 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	関東 康祐 (63) <令和3年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼担	教授	羽瀨 裕真 (58) <令和3年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼担	教授	湊 淳 (60) <令和3年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼担	教授	横木 裕宗 (56) <令和3年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論 I
兼担	教授	白岩 雅和 (60) <令和3年4月> 農学博士
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	教授	成澤 才彦 (58) <令和3年4月> 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	長南 茂 (55) <令和3年4月> 博士(農学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	教授	宮口 右二 (54) <令和3年4月> 博士(農学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	教授	上妻 由章 (52) <令和3年4月> 博士(農学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	教授	黒田 久雄 (60) <令和3年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼担	教授	伊丹 一浩 (53) <令和3年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼担	教授	小松崎 将一 (57) <令和3年4月> 農学博士
		地域サステイナビリティ農学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	長南 茂 (55) <令和3年4月> 博士(農学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	教授	宮口 右二 (54) <令和3年4月> 博士(農学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	教授	上妻 由章 (52) <令和3年4月> 博士(農学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	教授	黒田 久雄 (60) <令和3年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼担	教授	伊丹 一浩 (53) <令和3年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼担	教授	小松崎 将一 (57) <令和3年4月> 農学博士
		地域サステイナビリティ農学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	安西 弘行 (65) <令和3年4月> 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	准教授	石垣 建志 (61) <令和3年4月> 経済学修士
		理論経済学研究Ⅰ 理論経済学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	猪俣 紀子 (45) <令和3年4月> 修士(学術)
		ポピュラー文化研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	今川(高山) 奈緒 (42) <令和3年4月> 修士(政治学)
		行政法研究Ⅰ 行政法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	安西 弘行 (65) <令和3年4月> 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	准教授	石垣 建志 (61) <令和3年4月> 経済学修士
		理論経済学研究Ⅰ 理論経済学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>テクノロジーと人間社会Ⅰ※</b>
兼任	准教授	猪俣 紀子 (45) <令和3年4月> 修士(学術)
		ポピュラー文化研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	今川(高山) 奈緒 (42) <令和3年4月> 修士(政治学)
		行政法研究Ⅰ 行政法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小原 規宏 (44) <令和3年4月> 博士(理学)
		地誌学研究Ⅰ 地誌学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	川島 佑介 (37) <令和3年4月> 博士(文学)
		行政学研究Ⅰ 行政学研究Ⅱ 公共哲学研究Ⅰ 公共哲学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	陶山 二郎 (53) <令和3年4月> 法学修士
		刑法研究Ⅰ 刑法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小原 規宏 (44) <令和3年4月> 博士(理学)
		地誌学研究Ⅰ 地誌学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	川島 佑介 (37) <令和3年4月> 博士(文学)
		行政学研究Ⅰ 行政学研究Ⅱ 公共哲学研究Ⅰ 公共哲学研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	陶山 二郎 (53) <令和3年4月> 法学修士
		刑法研究Ⅰ 刑法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 大輔 (40) <令和3年4月> 博士(法学)
		民法研究AⅠ 民法研究AⅡ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	寺地 幹人 (38) <令和3年4月> 修士(学術)
		社会調査法研究 社会意識論研究 人間システム基礎論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	富江(穂山) 直子 (47) <令和3年4月> 博士(文学)
		社会事業史研究Ⅰ 社会事業史研究Ⅱ 人間システム基礎論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 大輔 (40) <令和3年4月> 博士(法学)
		民法研究AⅠ 民法研究AⅡ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ <b>テクノロジーと人間社会Ⅰ※</b>
兼任	准教授	寺地 幹人 (38) <令和3年4月> 修士(学術)
		社会調査法研究 社会意識論研究 人間システム基礎論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	富江(穂山) 直子 (47) <令和3年4月> 博士(文学)
		社会事業史研究Ⅰ 社会事業史研究Ⅱ 人間システム基礎論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	長田 華子 (38) <令和3年4月> 博士(社会科学)
		アジア経済論研究Ⅰ アジア経済論研究Ⅱ 人間システム基礎論Ⅰ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	野田 真里 (56) <令和3年4月> Master of Science in Management of Non Governmental Organisations (英国), 修士(経 済学)
		グローバル化と地域開発研究 持続可能な開発とSDGs研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	付 月 (41) <令和3年4月> 博士(法学)
		国際法研究Ⅰ 国際法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	長田 華子 (38) <令和3年4月> 博士(社会科学)
		アジア経済論研究Ⅰ アジア経済論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	野田 真里 (56) <令和3年4月> Master of Science in Management of Non Governmental Organisations (英国), 修士(経 済学)
		グローバル化と地域開発研究 持続可能な開発とSDGs研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	付 月 (41) <令和3年4月> 博士(法学)
		国際法研究Ⅰ 国際法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	星 純子 (43) <令和3年4月> 博士(学術)
		地域社会論研究Ⅰ 地域社会論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	宮崎 忠恒 (44) <令和3年4月> 博士(経済学)
		日本経済史研究Ⅰ 日本経済史研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	横溝 環 (55) <令和3年4月> 博士(国際コミュニケーション)
		多文化コミュニケーション論研究 多文化関係学研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	田村 誠 (44) <令和3年4月> 博士(学術)
		環境政策・経済学研究Ⅰ 環境政策・経済学研究Ⅱ 持続社会システム論Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	星 純子 (43) <令和3年4月> 博士(学術)
		地域社会論研究Ⅰ 地域社会論研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	宮崎 忠恒 (44) <令和3年4月> 博士(経済学)
		日本経済史研究Ⅰ 日本経済史研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	横溝 環 (55) <令和3年4月> 博士(国際コミュニケーション)
		多文化コミュニケーション論研究 多文化関係学研究 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼任	准教授	田村 誠 (44) <令和3年4月> 博士(学術)
		環境政策・経済学研究Ⅰ 環境政策・経済学研究Ⅱ <b>国際実践教育演習</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	関 友作 (57) <令和3年4月> 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (49) <令和3年4月> 博士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	准教授	豊田 淳 (51) <令和3年4月> 博士(農学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科 学 ~機能、加工、安全~)
兼任	准教授	中村 彰宏 (52) <令和3年4月> 博士(農学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科 学 ~機能、加工、安全~)
兼任	准教授	内田 晋 (55) <令和3年4月> 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	関 友作 (57) <令和3年4月> 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (49) <令和3年4月> 博士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B
兼任	教授	豊田 淳 (51) <令和3年4月> 博士(農学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科 学 ~機能、加工、安全~)
兼任	教授	中村 彰宏 (52) <令和3年4月> 博士(農学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科 学 ~機能、加工、安全~)
兼任	准教授	内田 晋 (55) <令和3年4月> 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	北嶋 康樹 (53) <令和3年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼担	准教授	鈴木 穂高 (50) <令和3年4月> 博士(獣医学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	准教授	鎗田 孝 (54) <令和3年4月> 博士(理学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	講師	伊藤(マスロー伊藤) 純子 (43) <令和3年4月> 修士(法学)
		憲法研究Ⅰ 憲法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	北嶋 康樹 (53) <令和3年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼担	准教授	鈴木 穂高 (50) <令和3年4月> 博士(獣医学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	准教授	鎗田 孝 (54) <令和3年4月> 博士(理学)
		Science of Food ~Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~)
兼担	准教授	石島 恵美子 (55) <令和3年4月> 博士(教育学)
		国内実践教育演習
兼担	講師	伊藤(マスロー伊藤) 純子 (43) <令和3年4月> 修士(法学)
		憲法研究Ⅰ 憲法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	大沼 沙樹 (33) <令和3年4月> 修士(商学)
		経営管理論研究Ⅰ 経営管理論研究Ⅱ
兼担	講師	掛貝 祐太 (29) <令和3年4月> 修士(経済学)
		財政学研究Ⅰ 財政学研究Ⅱ
兼担	講師	加藤 崇徳 (33) <令和3年4月> 修士(商学)
		経営戦略論研究Ⅰ 経営戦略論研究Ⅱ
兼担	講師	土屋(此内) 和子 (52) <令和3年4月> 修士(法学)
		社会保障法研究Ⅰ 社会保障法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	講師	福田 智子 (47) <令和3年4月> 修士(商学)
		民法研究BⅠ 民法研究BⅡ
兼担	講師	細田 雅洋 (35) <令和3年4月> 博士(経営学)
		管理会計論研究Ⅰ 管理会計論研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	大沼 沙樹 (33) <令和3年4月> 修士(商学)
		経営管理論研究Ⅰ 経営管理論研究Ⅱ
兼担	講師	掛貝 祐太 (29) <令和3年4月> 修士(経済学)
		財政学研究Ⅰ 財政学研究Ⅱ
兼担	講師	加藤 崇徳 (33) <令和3年4月> 修士(商学)
		経営戦略論研究Ⅰ 経営戦略論研究Ⅱ
兼担	講師	土屋(此内) 和子 (52) <令和3年4月> 修士(法学)
		社会保障法研究Ⅰ 社会保障法研究Ⅱ 専門基礎科目 専門基礎演習 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ
兼担	講師	福田 智子 (47) <令和3年4月> 修士(商学)
		民法研究BⅠ 民法研究BⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松井 良和 (36) <令和3年4月> 博士(法学)
		労働法研究Ⅰ 労働法研究Ⅱ
兼任	講師	長澤 淳 (58) <令和3年4月> 博士(経済学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	助教	細谷 幸男 (59) <令和3年4月> 修士(教育学)
		高度情報処理
兼任	助教	古谷 綾子 (45) <令和3年4月> 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	若松 弘子 (48) <令和3年4月> 修士(言語学)
		アカデミックプレゼンテーション アカデミックディスカッション
兼任	講師	湯元 昇 (66) <令和3年4月> 理学博士
		科学と倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松井 良和 (36) <令和3年4月> 博士(法学)
		労働法研究Ⅰ 労働法研究Ⅱ
兼任	講師	長澤 淳 (58) <令和3年4月> 博士(経済学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	講師	<b>採用予定</b> <b>&lt;令和3年6月&gt;</b>
		<b>サステナビリティ学最前線</b>
兼任	助教	細谷 幸男 (59) <令和3年4月> 修士(教育学)
		高度情報処理
兼任	助教	古谷 綾子 (45) <令和3年4月> 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	若松 弘子 (48) <令和3年4月> 修士(言語学)
		アカデミックプレゼンテーション アカデミックディスカッション
兼任	講師	湯元 昇 (66) <令和3年4月> 理学博士
		科学と倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中江 延男 (71) <令和3年4月> 博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (72) <令和3年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	大場 恭子 (48) <令和3年4月> 政策・メディア修士
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (62) <令和3年4月> 理学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	柳 光雄 (69) <令和3年4月> 知的財産修士(専門職)
		知的所有権特論
兼任	講師	大島 正弘 (64) <令和3年4月> 博士(薬学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	虎田 真一郎 (68) <令和3年4月> 工学修士
		原子科学と倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大場 恭子 (48) <令和3年4月> 政策・メディア修士
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (62) <令和3年4月> 理学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	柳 光雄 (69) <令和3年4月> 知的財産修士(専門職)
		知的所有権特論
兼任	講師	大島 正弘 (64) <令和3年4月> 博士(薬学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	虎田 真一郎 (68) <令和3年4月> 工学修士
		原子科学と倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	菊地 賢司 (70) <令和3年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	山村 靖夫 (67) <令和3年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	講師	芦澤 政子 (60) <令和3年4月> 文学士
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
兼任	講師	松島(中村) 明美 (51) <令和3年4月> 学士(被服学)
		実践的キャリアデザイン論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山村 靖夫 (67) <令和3年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	講師	芦澤 政子 (60) <令和3年4月> 文学士
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
兼任	講師	松島(中村) 明美 (51) <令和3年4月> 学士(被服学)
		実践的キャリアデザイン論
兼任	講師	市川 千恵子 (57) <令和3年4月> 博士(人文科学)
		イギリス文学研究Ⅰ【隔年】 イギリス文学研究Ⅱ【隔年】 イギリス文学演習Ⅰ イギリス文学演習Ⅱ
兼任	講師	細田 雅洋 (35) <令和3年4月> 博士(経営学)
		管理会計論研究Ⅰ 管理会計論研究Ⅱ



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平井 朗 (67) <令和3年4月> 修士(国際交流)
		国際政治学研究Ⅱ
兼任	講師	採用予定 <令和3年9月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	採用予定 <令和3年9月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	採用予定 <令和3年9月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	フィダルゴ ジーナ (45) <令和3年4月> 修士(言語学)
		実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	講師	島田 敏 (55) <令和3年4月> 修士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高橋 梢 (43) <令和3年4月> 博士(工学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	講師	金子 信博 (62) <令和3年4月> 博士(農学)
		地域サステイナビリティ農学概論
兼任	講師	山岸 裕 (56) <令和3年4月> (教育ファシリテーション修士)
		ファシリテーション能力開発演習Ⅰ ファシリテーション能力開発演習Ⅱ
兼任	講師	森下 哲 (59) <令和3年4月> 修士(環境工学)
		サステイナビリティ学最前線
兼任	講師	藤井 正隆 (59) <令和3年4月> 経営管理修士
		経営組織論研究
兼任	講師	大山 修 (65) <令和3年4月> 学士(経営学)
		経営財務論研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	赤岩 茂 (62) ＜令和3年4月＞ 学士(経営学)
		財務会計論研究
兼任	講師	増田 英敏 (64) ＜令和3年4月＞ 博士(法学)
		税務会計論研究
兼任	講師	谷口 智紀 (38) ＜令和3年4月＞ 博士(法学)
		税務会計論研究
兼任	講師	山本 直毅 (30) ＜令和3年4月＞ 博士(法学)
		税務会計論研究

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として  
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認して  
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【令和3年度】**

- ・市川教授辞任。後任未定であるが、令和4年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・桐山講師辞任により、小泉特任教授に変更。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
2	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
23	9	3	0	35	0	23	9	2	0	34	0
(23)	(9)	(2)	(0)	(34)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
32	0	3				34	0	0			
(34)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
23	9	2	0	34	0	23	9	3	0	35	0
[0]	[0]	[△1]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
34	0	0				34	0	1			
[2]	[0]	[△3]				[2]	[0]	[△2]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{34}{35} = \boxed{97.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{34} = \boxed{2.94} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	市川 千恵子	R3.3	選択	イギリス文学研究Ⅰ	②	R3.3自己都合退職			
				選択	イギリス文学研究Ⅱ	②				
				選択	イギリス文学演習Ⅰ	②				
				選択	イギリス文学演習Ⅱ	②				
				選択	英語講読Ⅰ	①				
				選択	英文修辞法Ⅱ	①				
				選択	専門基礎科目	①				
				必修	人文科学研究法	①				
				必修	専門基礎演習	①				
				必修	テクノロジーと人間社会Ⅰ	①				
				必修	課題研究演習Ⅰ	①				
必修	課題研究演習Ⅱ	①								
2	講師	桐山 大介	R3.3	選択	アメリカ文学研究Ⅰ	①	R3.3自己都合退職			
				選択	アメリカ文学研究Ⅱ	①				
				選択	アメリカ文学演習Ⅰ	①				
				選択	アメリカ文学演習Ⅱ	①				
				選択	英文修辞法Ⅰ	①				
				選択	英語音声表現演習Ⅱ	①				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	9	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	14	科目	計	4	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当無し

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2 人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	13 科目	選択	9 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	18 科目	計	14 科目	計	4 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{35} = \boxed{5.71} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況 該当無し

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当無し

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・市川教員交代に係る大学の所見としては、後任補充までの期間は当該教員に非常勤講師として授業を担当してもらい、または、他の同様の専門領域の知見を備えた専任教員（永井、西山）を充てることにより、各授業科目を開講していること、また、当該教員には指導学生がいないことから、大きな影響はないと考える。
- ・桐山教員交代に係る大学の所見としては、後任補充までの期間は同様の専門領域の知見がある、小泉特任教授を充てることにより、各授業科目を開講していること、また、当該教員には指導学生がいないことから、大きな影響はないと考える。
- ・学生への周知方法については、大学院学生便覧への掲載、各種掲示および指導教員による履修指導により周知を図っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。





## 7 その他全般的事項

<人文社会科学研究科 人文科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 該当無し

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

- ・ 全学に教育改革推進委員会、全学教育機構総合教育企画部門会議を置き、全学的に質保証システムを管理する。
- ・ 研究科に大学院専門委員会を置き、大学院専門委員を兼務する専攻長とともに質保証システムを運用する。
- ・ 専攻長が主宰する専攻会議を置き、専攻及びコースFD等について協議する。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 全学の教育改革推進委員会及び全学教育機構総合教育企画部門会議は各月各1回程度開催。
- ・ 研究科の大学院専門委員会は各月1回程度開催する。
- ・ 専攻会議を各月1回程度開催する。
- ・ 必要に応じてコース会議を開催する。

#### c 委員会の審議事項等

- ・ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー等に関すること。
- ・ 学生（院生）アンケート、及び授業点検改善等に関すること。
- ・ FD及び院生懇談会（意見聴取）等に関すること。
- ・ 授業のガイドライン、カリキュラムマッピング、評価ルーブリック等に関すること。

### ② 実施状況

#### a 実施内容

- ・ 学生の修得状況、学習内容、授業方法、評価方法、出願・就職状況等についてのコース検討会（FD）。
- ・ コース検討会（FD）の結果に基づく専攻検討会（FD）。
- ・ 専攻検討会（FD）の結果に基づく研究科検討会（FD）。

- ・学生アンケート（全学・専攻）、院生懇談会（意見聴取）及び授業点検改善。
- ・教育に関する課題についての研修会（全学・研究科）。
- ・全学教育機構による研究科のFD活動支援。

b 実施方法

- ・4階層（コース単位, 専攻, 研究科, 全学）質保証システムによる。手順は以下の通り。
- ・学生（授業）アンケート（全学・研究科）に基づく授業点検改善（研究科）を実施する。
- ・全学教育機構と研究科大学院専門委員会から専攻及びコースFDの検討事項と基礎資料を提供する。
- ・専攻内のコース検討会（FD）を開催する。
- ・コース検討会（FD）の結果に基づき専攻検討会（FD）を開催する。
- ・専攻検討会（FD）の結果を研究科検討会（FD）で報告し、共有をはかる。
- ・研究科FD研修会に研究科構成員が参加する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・コースFD（年2回以上、コース構成員の全員参加を原則とする）。
- ・専攻FD（年1回、専攻会議構成員）。
- ・研究科FD研修会（年1回、各学科構成員）。
- ・その他全学教育機構が主催するFD・研修会（希望者）。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ディプロマ・ポリシーを意識した授業到達目標の設定とその可視化への取組。
- ・評価の方法、授業の方法、研究指導方法等についての教員間情報共有（すりあわせを含む）への取組。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・個別の授業アンケートなし（代替措置として院生懇談会（学生の意見聴取会）を4月、1月に実施）。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・全学実施分は学内WEB公開（教員・学生とも閲覧可能）。
- ・専攻実施分は集計データを専攻やコースFD資料として使用（教員用）。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学者の確保に関しては、新型コロナウイルス感染等の影響により、当初の想定を下回ってしまったが、感染が収束すれば留学生等の志願者増が期待され、当初の想定は実現可能だと思われる。また、教員配置・施設設備・授業開講も計画通り行われており、設置の趣旨・目的の達成に向けて問題なく専攻教育がスタートしたと判断する。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・令和3年9月1日 公表予定

###### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開予定（令和3年9月を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に機関別認証評価（大学改革支援・学位授与機構）を受審中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。